USA's primary source for projector lamps

myprojectorlamps

プロジェクター所有者の取扱説明書

BenQ

HT5550

このプロジェクターの交換用ランプが必要ですか？

www.mplamps.co.jp

メーカーオリジナル取扱説明書。MyProjectorLamps.comの厚意として、修正せずに提供しています。
すべての商標は、それぞれの所有者の所有物です。

デジタル プロジェクター

取扱説明書

CinePrime シリーズ I W5700 / W5700S / HT5550

V 1.03

保証と著作権について

限定保証

BenQ は、本製品が正常に使用および保管される場合に限り、本製品の材料および製造上の瑕疵がないことを保証します。

保証を受ける際には、購入日の証明が必要となります。保証期間中に本製品に瑕疵があることが判明した場合、BenQ の全責任と、お客様に対する全面的な補償は、瑕疵のある部品の交換（工賃を含む）に限られます。保証サービスを受ける場合は、製品を購入した販売店に直ちに連絡してください。

重要：お客様が BenQ の文書による指示に従わずに操作を行った場合はこの保証は無効となります。特に本製品は環境湿度 10% から 90% の間、温度 0°C から 35°C の間、高度 4920 フィート以下の環境でご使用になり、ホコリが立ちやすい場所での使用はお止めください。この保証により、お客様には特定の法的権利が与えられます。また、在住している国によっては、お客様にその他の権利が与えられることもあります。

詳細は、弊社ホームページ www.BenQ.com をご覧ください。

著作権

Copyright 2021 by BenQ Corporation。All rights reserved. 本書のいかなる部分も、BenQ Corporation の事前の書面による同意なく、電子的、機械的、磁気的、光学的、化学的、手動その他の手段を問わず、複製、転載、改変、検索システムへの保存、他言語またはコンピューター言語への翻訳を行うことはできません。

おことわり

BenQ Corporation は、明示的または暗示的を問わず、本書の内容に関して、特に保証、商業的可能性、特定目的への適合性に関しては、いかなる表明または保証もいたしません。さらに、BenQ コーポレーションは本書を改定する権利と、このような改定や変更についていかなる人物に対しても通知する義務を負うことなく内容を変更できる権利を有しています。

*DLP、Digital Micromirror Device、および DMD は、Texas Instruments の商標です。その他の著作権は各社または各組織に帰属します。

特許

BenQ プロジェクターの特許については、http://patmarking.benq.com/ をご覧ください。

目次

保証と著作権について **2**

安全にお使いいただくために **4**

はじめに **7**

パッケージ内容 7

プロジェクター外観ビュー 8

端末 9

制御装置および機能 10

プロジェクターの配置 **12**

設置場所の選択 12

スクリーンサイズの調整 13

プロジェクターの取り付け 14

プロジェクターの位置を設定する 15

投写画像の調整 16

接続 **17**

操作 **18**

プロジェクターの起動 18

メニューの使用方法 20

プロジェクターの保護 21

入力信号の切り替え 23

Media Reader からプレゼンテーションを行う 24

ファームウェアのアップグレード 26

プロジェクターをシャットダウンする 27

メニューの操作 **28**

メニュー システム 28

ピクチャメニュー 30

表示メニュー 35

インストールメニュー 36

ネットワーク設定メニュー 37

システム設定：基本メニュー 37

システム設定：詳細メニュー 38

情報メニュー 39

メンテナンス **40**

プロジェクターのお手入れ 40

ランプについて 41

トラブルシューティング **47**

仕様 **48**

プロジェクターの仕様 48

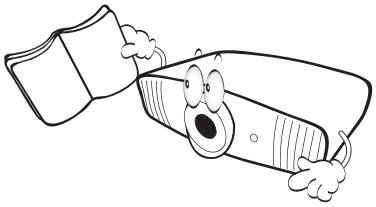
外形寸法 49

タイミングチャート 50

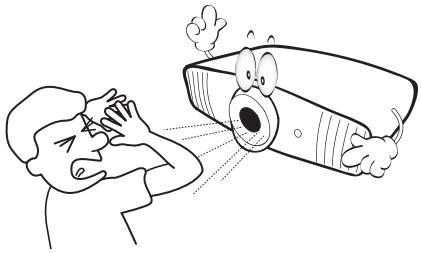
安全にお使いいただくために

お使いのプロジェクターは、情報テクノロジーデバイスの最新の安全規格に適合するように設計され、テストされています。ただし、本装置を安全にご使用いただくために、このガイドおよび装置のマークに記載されている指示に従ってください。

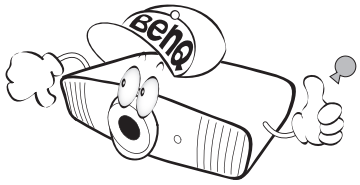
1. **プロジェクターを操作する前に、この取扱説明書をお読みください。**またいつでも参照できるように、手の届く場所に保管しておいてください。



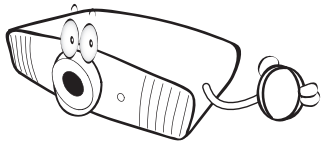
2. **動作中は、プロジェクターのレンズを覗き込まないでください。**強い光線なので、視力障害を引き起こす恐れがあります。



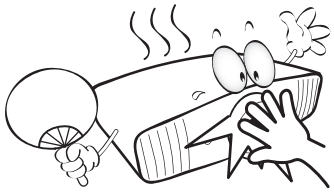
3. **点検修理については、サポートセンターにお問い合わせください。**



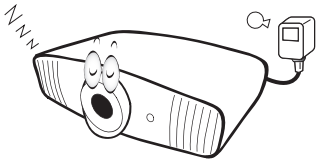
4. **プロジェクターのランプをオンにするときは、必ずレンズシャッター（ある場合）を開くか、レンズキャップ（ある場合）を取り外してください。**



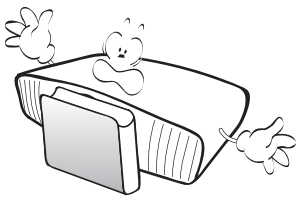
5. ランプは、動作中に非常に高温になります。ランプ部を取り外して交換する場合は、プロジェクターの電源を切ってから 45 分間ほど放置して、プロジェクターを常温に戻してください。



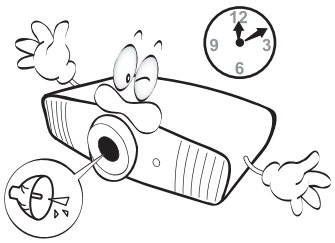
6. 電源コード
   - 付属の電源コード以外のものは使用しないでください。
   - 付属した電源コードは本機以外の電気機器等では使用できません。
   - 機器の安全確保のため、機器のアースは確実に接続し、使用してください。
     アースの接続は、必ず電源プラグをコンセントに差し込む前に行ってください。また、アースを外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。



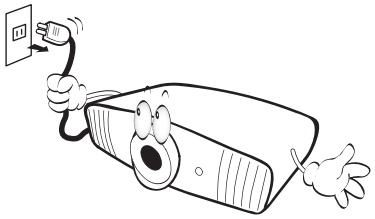
7. プロジェクターが作動しているときに投写レンズを物体で塞ぐと、それが過熱して変形したり、火災の原因となったりします。ランプを一時的にオフにするには、**ECO BLANK** ボタンを押します。



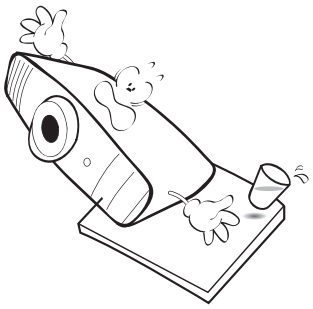
8. ランプは定格寿命より長く使用しないでください。ごくまれですが、定格寿命より長く使用すると、ランプが破裂することがあります。



9. ランプ部や電子部品の交換は、必ずプロジェクターの電源プラグを抜いてから行ってください。

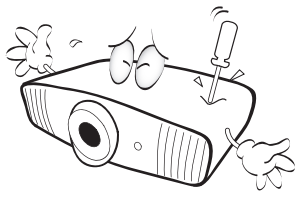


10. 本製品は安定した場所に設置してください。本製品が落下して、破損する恐れがあります。



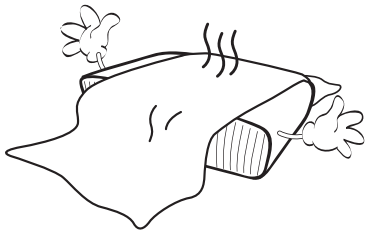
11. 本装置のキャビネットは開けないでください。内部には危険な電圧が流れており、触れると死に至る場合もあります。お客様ご自身で補修できるパーツは、専用の取り外し可能なカバーが付いたランプ部分だけです。

    いかなる状況においても、これ以外のカバーをご自身で取り外そうとしないでください。修理はサポートセンターにお問い合わせください。



12. 通気孔をふさがないでください。

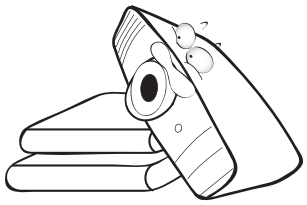
    - 本製品をブランケットなどの寝具類、または他の柔らかい物の上に置かないでください。
    - 本製品の上に布などをかぶせないでください。
    - プロジェクターの近くに可燃物を置かないでください。



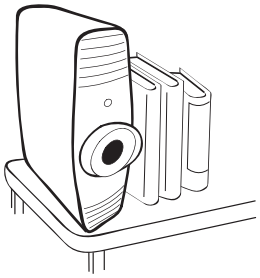
    通気孔がふさがれると、プロジェクターの内部が過熱し、火災が発生することがあります。

13. 使用時は必ず装置を水平な平面上に置いてください。

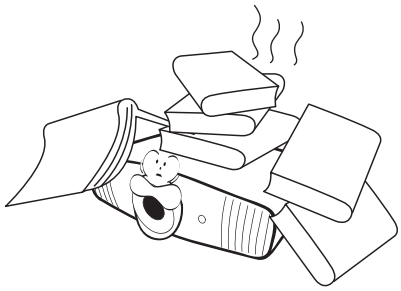
    - 左右の傾きが 10°、または前後の傾きが 15° を超える状態で使用しないでください。完全に水平になっていない状態でプロジェクターを使用すると、ランプが故障したり破損したりすることがあります。



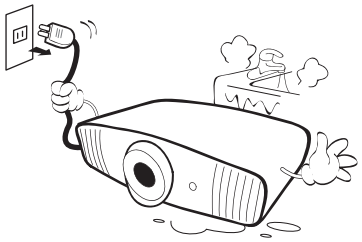
14. 装置を縦向きにしないでください。縦向きにするとプロジェクターが倒れ、けがをしたり、プロジェクターが破損したりする恐れがあります。



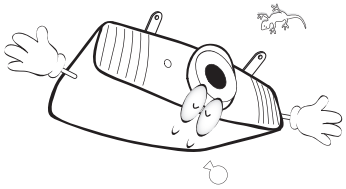
15. 装置の上に乗ったり、物を置いたりしないでください。装置が物理的に破損するだけでなく、事故やけがの原因になります。



16. プロジェクターが作動しているときには、通気孔から熱風と臭気を感じる場合があります。これは正常な状態であり、製品の欠陥によるものではありません。
17. プロジェクターの上または近くに液体を置かないでください。プロジェクター内部に液体がこぼれると故障の原因になります。プロジェクターが濡れてしまった場合は、電源コンセントを抜いて、サポートセンターに点検を依頼してください。

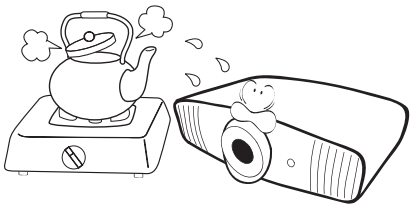


18. 本製品を天井に取り付けて、イメージを反転投写することができます。

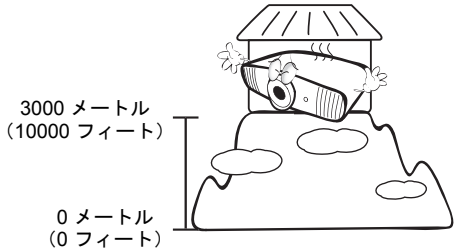


19. この装置は接地されていなければなりません。

20. 次の場所に装置を置かないでください。
    - 通気が不十分な場所または密閉されている場所。壁との間隔を 50 cm 以上空けて、プロジェクターの周辺の風通しをよくしてください。
    - 窓を締め切った車内など、非常に高温になる場所。
    - 非常に湿度が高い場所、ほこりの多い場所、タバコの煙にさらされる場所。このような場所に置くと、光学部品が汚れ、プロジェクターの寿命が短くなり、画像が暗くなります。



    - 火災報知器に近い場所。
    - 周辺温度が 40°C / 104°F を超える場所。
    - 高度が 3000 メートル（10000 フィート）を超える場所。



リスクグループ 2

1. ランプとランプ システムの光生物学的安全分類によると、この製品はリスクグループ 2、IEC 62471-5:2015 とされています。
2. この製品からは、光放射が放出される可能性があります。
3. 作動中のランプを見つめないでください。視覚障害を起こす可能性があります。
4. 他の光源同様、直接光線を見つめることはお止めください。



DLP チップの故障の原因となりますので、投写レンズに高性能レーザー光線を当てないでください。

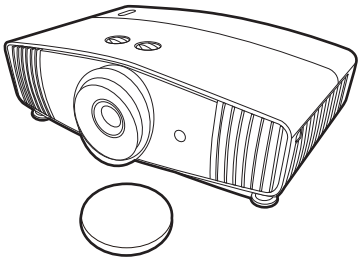
Hg - このランプの中には水銀が入っています。各自治体の回収規則にしたがってください。詳細は、www.lamprecycle.org をご覧ください。

はじめに

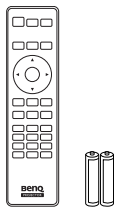
パッケージ内容

丁寧に開梱し、次に示すものがすべて揃っていることを確認してください。不足しているものがある場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

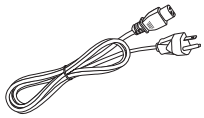
標準アクセサリ



プロジェクター



リモコン（電池付き）



電源コード



インストールガイド



取扱説明書 CD



保証書

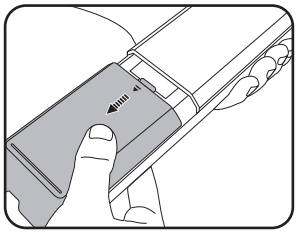
同梱のアクセサリ類は日本仕様のものであり、本書の図とは異なる場合があります。

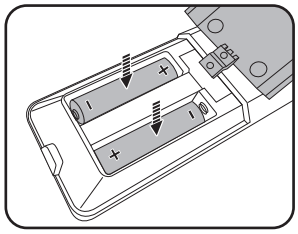
オプション アクセサリ

1. スペアランプキット
2. 天井取り付けキット
3. BenQ 3D メガネ

リモコンの電池の交換

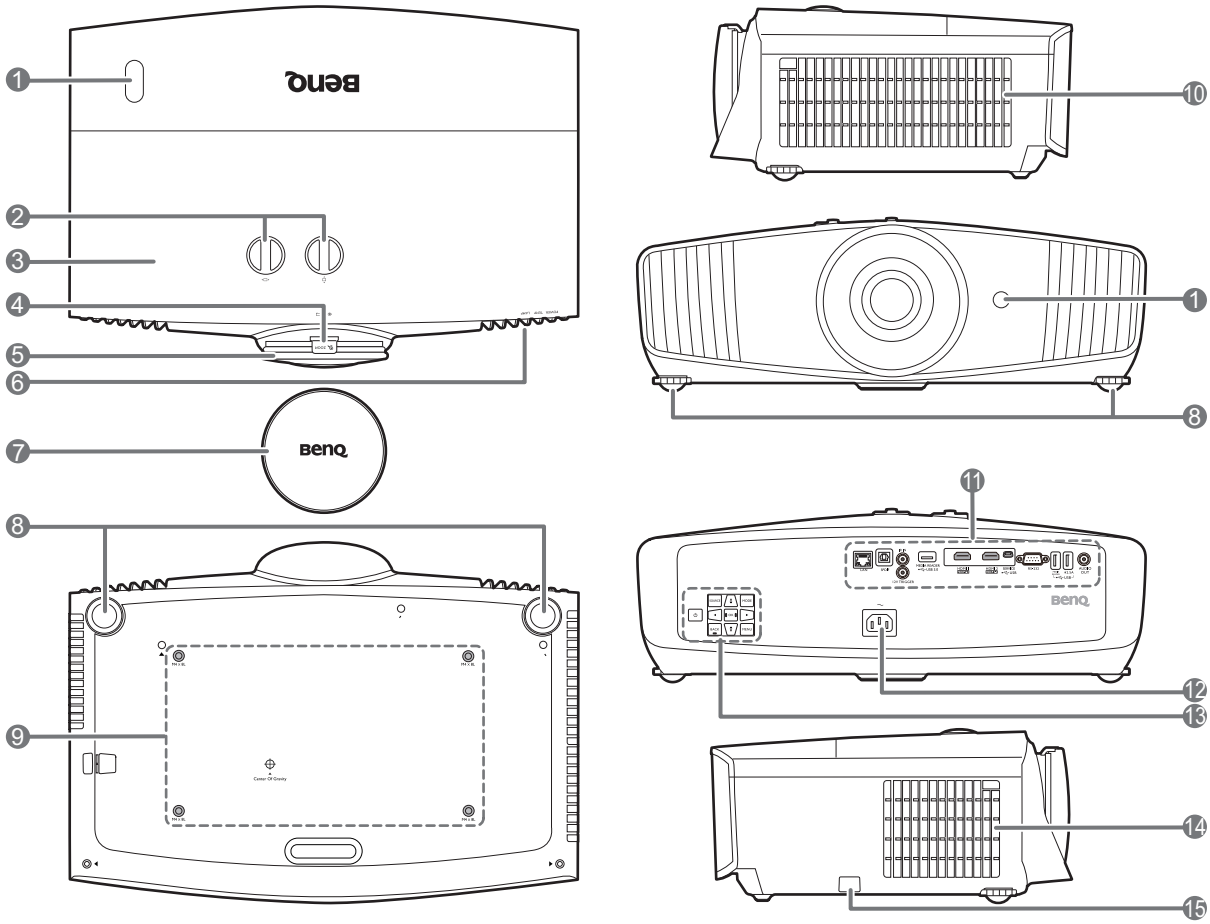
1. 図に示すとおり、電池カバーを一旦押してからスライドさせます。
2. 古い電池を取り出して（該当する場合）、2 個の AAA（単 4）電池を挿入します。図に示すとおり、極性に注意してください。
3. 電池カバーをカチッという音がするまでスライドして元に戻してください。





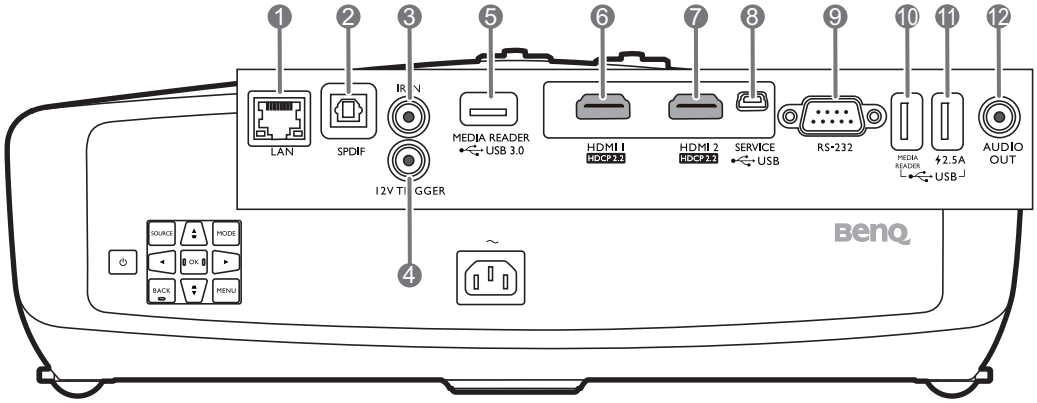
- リモコンや電池は台所、浴室、サウナ、サンルーム、車内など高温多湿の場所に放置しないでください。
- 電池メーカーが推奨するものと同じか、または同種の電池以外は使用しないでください。
- また、使用済みの電池は各自治体の回収規則にしたがって廃棄してください。
- 電池を火の中に投げ込まないでください。爆発の危険性があります。
- 電池が完全に消耗してしまったり、またはリモコンを長期間使用しないときには、漏電によりリモコンのコントロール部分が破損しないように電池は外しておいてください。

プロジェクター外観ビュー



1. 赤外線リモートセンサー
2. レンズシフト調整つまみ
   （◂□▸左右、□上下）
3. ランプカバー
4. ズームリング
5. フォーカスリング
6. **POWER（電源インジケーターライト）/ TEMP（温度警告ライト）/ LAMP（ランプインジケーターライト）**
   46 ページのインジケーターを参照してください。
7. レンズカバー
8. 高さ調整脚
9. 天井取り付け穴
10. 通気口（吸気口）
11. コネクターパネル
    9 ページの端末を参照してください。
12. AC 電源ジャック
13. 外部コントロールパネル
    10 ページの制御装置および機能を参照してください。
14. 通気口（排気口）
15. 盗難防止セキュリティバー

端末

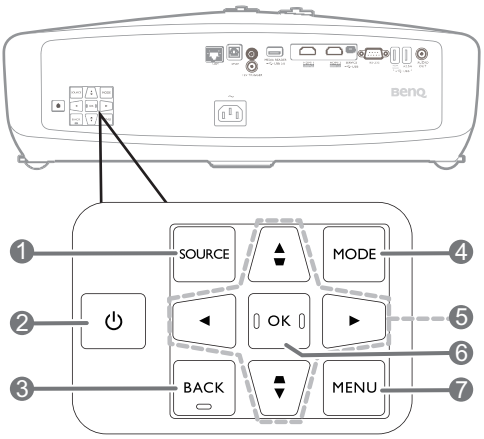


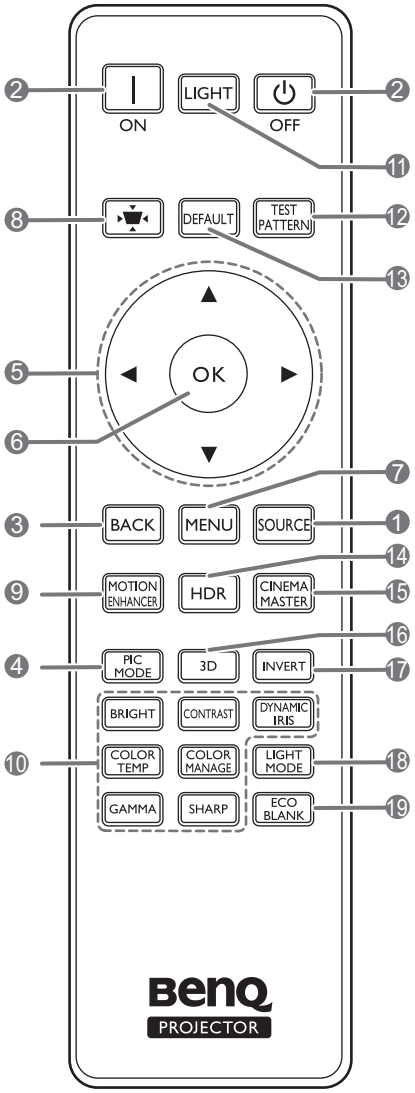
1. RJ-45 LAN 入力端子 (10/100M)
2. SPDIF オーディオ出力ポート
3. IR-IN ジャック
   IR エクステンダー ケーブルを使ってリモコンからの信号受信を向上させるために使用します。
4. 12V DC 出力端子
   電動スクリーンやライト コントロールなどの電子デバイスを機能させます。
5. USB 3.0 Type-A ポート (MEDIA READER)
   マルチメディアファイルを読むために、USB フラッシュドライブに接続します。
   24 ページの Media Reader からプレゼンテーションを行うを参照してください。
6. HDMI 入力ポート（バージョン 2.0b）
7. HDMI 入力ポート（バージョン 2.0b）
8. USB Mini-B ポート（ファームウェアのアップグレード）
9. RS-232 制御ポート
10. USB 2.0 Type-A ポート (MEDIA READER)
    マルチメディアファイルを読むために、USB フラッシュドライブに接続します。
    24 ページの Media Reader からプレゼンテーションを行うを参照してください。
11. USB 2.0 Type-A ポート（2.5 A 電源）
12. オーディオ出力ポート

制御装置および機能

プロジェクターとリモコン

本書で説明するキーはすべて、リモコンまたはプロジェクターにあります。





1. **SOURCE**

   ソース選択バーを表示します。

2. **電源**

   スタンバイと電源オンの状態を切り替えます。

   ON/Off

   スタンバイと電源オンの状態を切り替えます。

3. **BACK**

   前の OSD メニューに戻ったり、終了してメニュー設定を保存します。

4. **MODE、PIC MODE**

   プロジェクターが有効な信号を検出すると、使用可能な画像設定モードが選択されます。

5. 矢印キー（▲、▼、◀、▶）

   オンスクリーン ディスプレイ (OSD) メニューが有効な場合、これらのキーを方向指示のボタンとして使用し、メニュー項目の選択や調整を行います。

   台形補正キー（▲/▽、▼/△）

   台形補正ページが表示されます。

6. **OK**

   選択したオン スクリーン ディスプレイ (OSD) メニューのアイテムを確定します。

7. **MENU**

   オン スクリーン ディスプレイ (OSD) メニューをオンにします。

8. 台形補正キー

   台形補正メニューが表示されます。

9. **MOTION ENHANCER**

   Motion Enhancer 4K メニューを表示します。

10. 画質調整キー（**BRIGHT**、**COLOR TEMP**、**GAMMA**、**CONTRAST**、**COLOR MANAGE**、**SHARP**、**DYNAMIC IRIS**）

    適切な画質に調整するためのメニューが表示されます。

11. **LIGHT**

リモコンのバックライトを数秒間オンにします。バックライトを点灯させたままにするには、バックライトがオンの状態で他のキーを押します。再びこのキーを押すとバックライトがオフになります。

12. **TEST PATTERN**

テストパターンを表示します。

13. **DEFAULT**

現在の機能を初期値に戻します。

14. **HDR**

HDR メニューを表示します。

15. **CINEMAMASTER**

CinemaMaster メニューを表示します。

33 ページの CinemaMaster を参照してください。

16. **3D**

3D メニューを表示します。

17. **INVERT**

3D 画像が歪んでいるときには、この機能を有効にして左目と右目の画像を入れ替えると 3D 画像が見やすくなります。

18. **LIGHT MODE**

モードの中から適切なランプ電源を選択します。

19. **ECO BLANK**

スクリーン画像を消すために使用します。

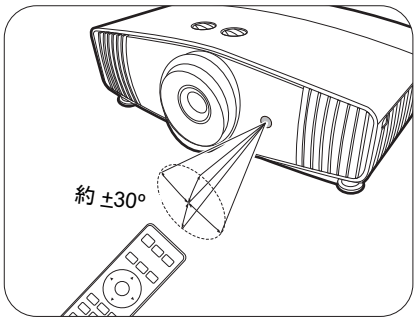
投写中に投写レンズを他の物体で覆わないでください。その物体が過熱し、火災の原因となり危険です。

リモコンの有効範囲

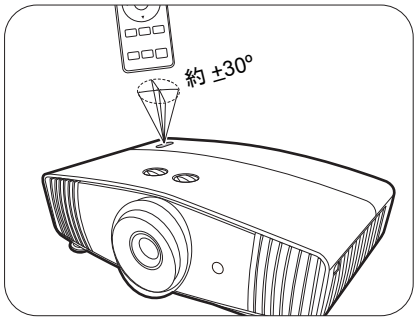
リモコンはプロジェクターの IR リモコン センサーに対して垂直に 30 度以内の角度に持たなければ、正しく作動しません。リモコンとセンサーの距離は、8 メートル（~ 26 フィート）以内でなければなりません。

リモコンとプロジェクターの IR センサーの間に障害物があると、赤外線光線が届かない場合があります。

• 正面からプロジェクターを操作する



• 上からプロジェクターを操作する



プロジェクターの配置

設置場所の選択

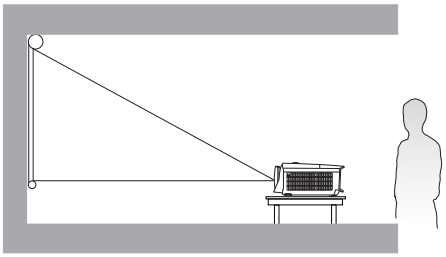
プロジェクターの設置場所を決める際には、次のことに配慮してください。

- スクリーンのサイズと位置
- コンセントの位置
- プロジェクターとその他のデバイスの間の位置と距離

このプロジェクターは、次の方法で設置できます。

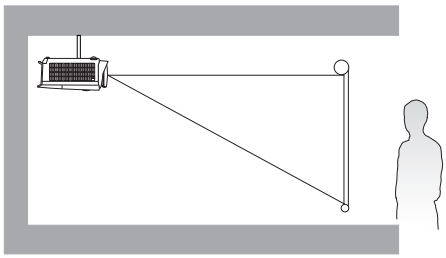
1. **正面**

プロジェクターをスクリーンの正面に置いた机の上に設置します。これが最も一般的な設定です。



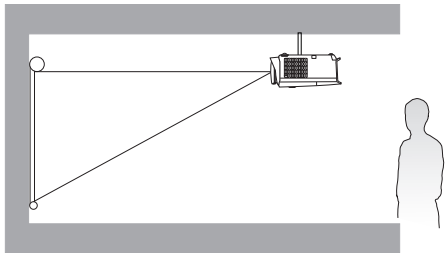
2. **天井背面**

プロジェクターを上下逆さにスクリーン背面の天井に取り付けます。専用の背面投写スクリーンと BenQ プロジェクター天井取り付けキットが必要です。



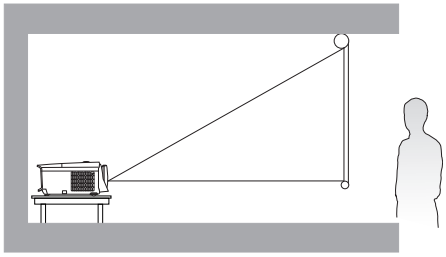
3. **天井正面**

プロジェクターを上下逆さにスクリーン正面の天井に取り付けます。この方法で設置する場合は、BenQ プロジェクター天井取り付けキットをご購入ください。



4. **背面**

プロジェクターをスクリーン背面に置いた机の上に設置します。専用の背面投写スクリーンが必要です。



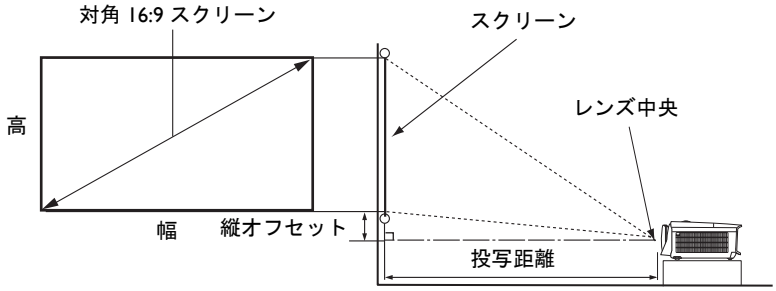
プロジェクターの電源を入れた後、**インストール** > **プロジェクタの位置**を選択して ◄/► を押し、設定を選択します。

スクリーンサイズの調整

投写距離、ズーム設定、ビデオフォーマットにより投写画面サイズは変化します。

投写サイズ

• スクリーンの縦横比は 16:9、投写画像の縦横比は 16:9



スクリーンサイズ				スクリーンからの距離 (mm)			縦オフセット（レンズの最低 / 最高位置 ）(mm)
対角		高 (mm)	幅 (mm)	最短（最大ズーム）	平均	最長（最小ズーム）	
インチ	mm						
60	1524	747	1328	1800	2348	2896	75
70	1778	872	1550	2100	2739	3378	87
80	2032	996	1771	2400	3130	3861	100
90	2286	1121	1992	2700	3522	4343	112
100	2540	1245	2214	3000	3913	4826	125
110	2794	1370	2435	3300	4304	5309	137
120	3048	1494	2657	3600	4696	5791	149
130	3302	1619	2878	3900	5087	6274	162
140	3556	1743	3099	4200	5478	6757	174
150	3810	1868	3321	4500	5870	7239	187
160	4064	1992	3542	4800	6261	7722	199
170	4318	2117	3763	5100	6652	8204	212
180	4572	2241	3985	5400	7043	8687	224
190	4826	2366	4206	5700	7435	9170	237
200	5080	2491	4428	6000	7826	9652	249

たとえば、120 インチのスクリーンを使用する場合は、推奨する投写距離は 4696 mm となります。

測定した投写距離が 500 cm であったとき、「スクリーンからの距離 (mm)」欄の最も近い値は 5087 mm になります。同じ列を見ると、130 インチ（約 3.3 m）が必要なスクリーンであることが分かります。

測定値はすべておよその値であり、実際のサイズにより変わります。
プロジェクターを一定場所に固定する予定であれば、設置を行う前に実際にプロジェクターを使って投写サイズと距離を測っておかれるようお薦めします。このように準備しておくことによって、プロジェクターを最適な位置に固定することができます。

プロジェクターの取り付け

プロジェクターを取り付ける場合は、BenQ プロジェクター専用の取り付けキットをお使いになり、しっかりと確実に設置してください。

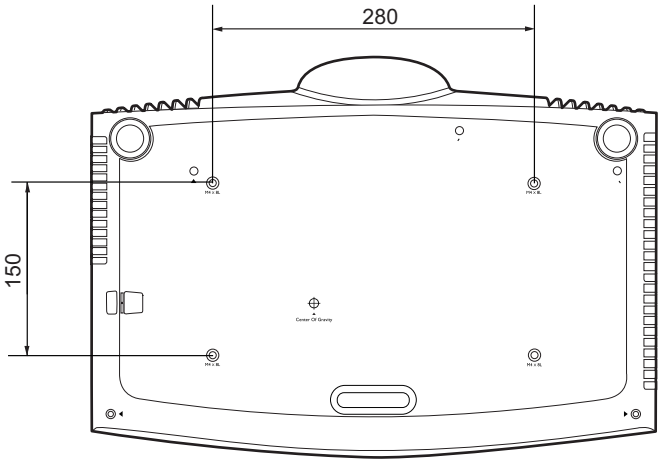
BenQ プロジェクター以外の取り付けキットをお使いになると、ゲージやネジの長さが正確でないためプロジェクターが正しく固定されず落下してしまう恐れがあります。

プロジェクターを取り付ける前に

- BenQ プロジェクター専用取り付けキットは、BenQ プロジェクターを購入されたショップでご購入いただけます。
- BenQ は取り付け用ブラケットの底部とプロジェクターのセキュリティバーを固定するために、セキュリティケーブルもご使用になることをお薦めします。このようにしておくと、万一取り付け用ブラケットが緩んでしまった場合にも、プロジェクターを補助的に支えることができます。
- プロジェクターの取り付けは、販売店にご依頼ください。お客様ご自身でプロジェクターを取り付けると、落下するなどしてケガの原因となります。
- 地震などの際にプロジェクターが落下しないように、正しい手順で設置してください。
- BenQ 製以外の取り付けキットを使用して取り付けた場合は、製品が故障しても保証の対象となりませんのでご注意ください。
- 天井に取り付ける場合は、周囲の温度にご注意ください。ヒーターを使用する場合は、天井周辺の温度が予想以上に高くなる場合があります。
- トルク範囲については、取り付けキットの取り扱い説明書をお読みください。推奨範囲を超えてトルクを締め付けると、プロジェクターの故障の原因となり、結果的に落下する場合があります。
- いつでも簡単にプロジェクターをシャットダウンできるように、コンセントが手に届く位置にあるか確認してください。

天井取り付け図

天井取り付けネジ：M4
（最長 = 25 mm、最短 = 20 mm）



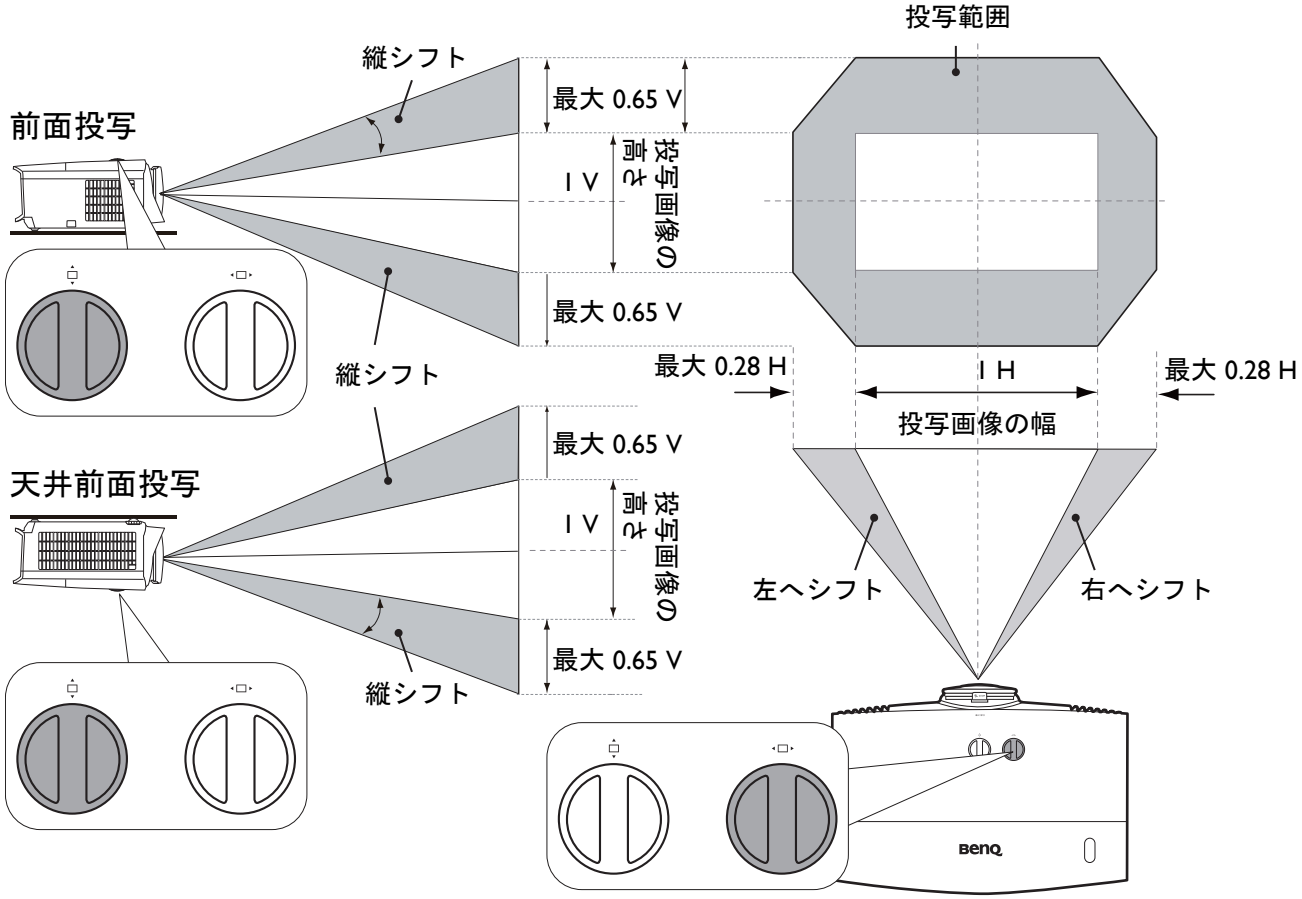
単位：mm

プロジェクターの位置を設定する

投写レンズのシフト

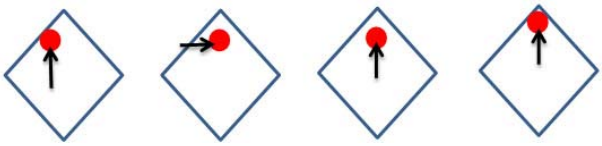
プロジェクターをより自由に取り付けられるように、レンズシフト機能が備わっています。この機能を活用すると、プロジェクターがスクリーンの中央に画像を投写するよう調整することができます。

レンズシフトは投写画像の高さまたは幅のパーセンテージにより表示されます。つまみを回すと、画像の位置によって可能な範囲でどのような方向へもシフトできます。



最高または最低投写位置：

1. ▲□▼ に向けます（上 / 下）。
2. 限界に達したと感じたら、◂□▸ を左または右に向けて、再度 ▲□▼ を回します。
3. 適切な位置になるまで上記の手順を繰り返してください。



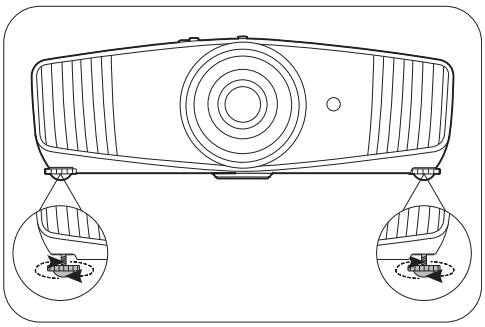
- 画質が悪い場合はレンズシフト調整は正常に機能しません。
- カチッという音がしたら、調整つまみが限度に達していることを意味していますので、それ以上は回さないでください。それ以上つまみを回すと、故障の原因となります。

投写画像の調整

投写角度の調整

プロジェクターが床に対して水平な場所に設置されていない場合、またはスクリーンとプロジェクターが垂直に設置されていない場合は、投写画像が台形になります。調整脚を回して、水平角度を微調整します。

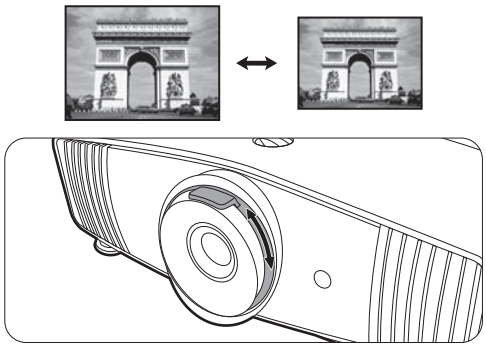
高さ調整脚を収納するには、背面調整脚のネジを反対方向に回します。



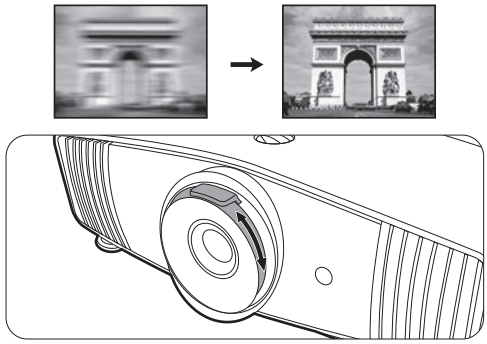
ランプが点灯しているときには絶対にレンズを覗かないでください。ランプからは強い光が発されており、目を傷つける場合があります。

画像サイズと明瞭さの微調整

1. 投写されたイメージのサイズを調整するには、ズームリングを使用します。



2. フォーカスリングを回して焦点を合わせます。

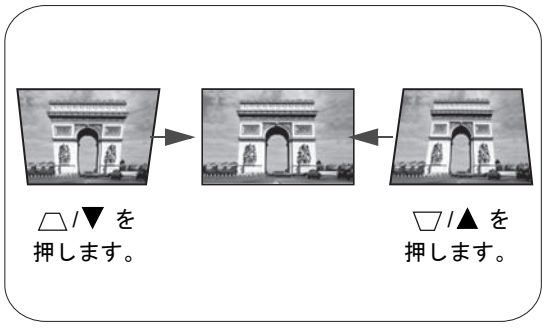


台形補正

台形補正とは、まっすぐに投写されなかったために、投写画像の上部または下部のいずれかが明らかに長くなってしまう状態のことです。

これを手動で補正するには：

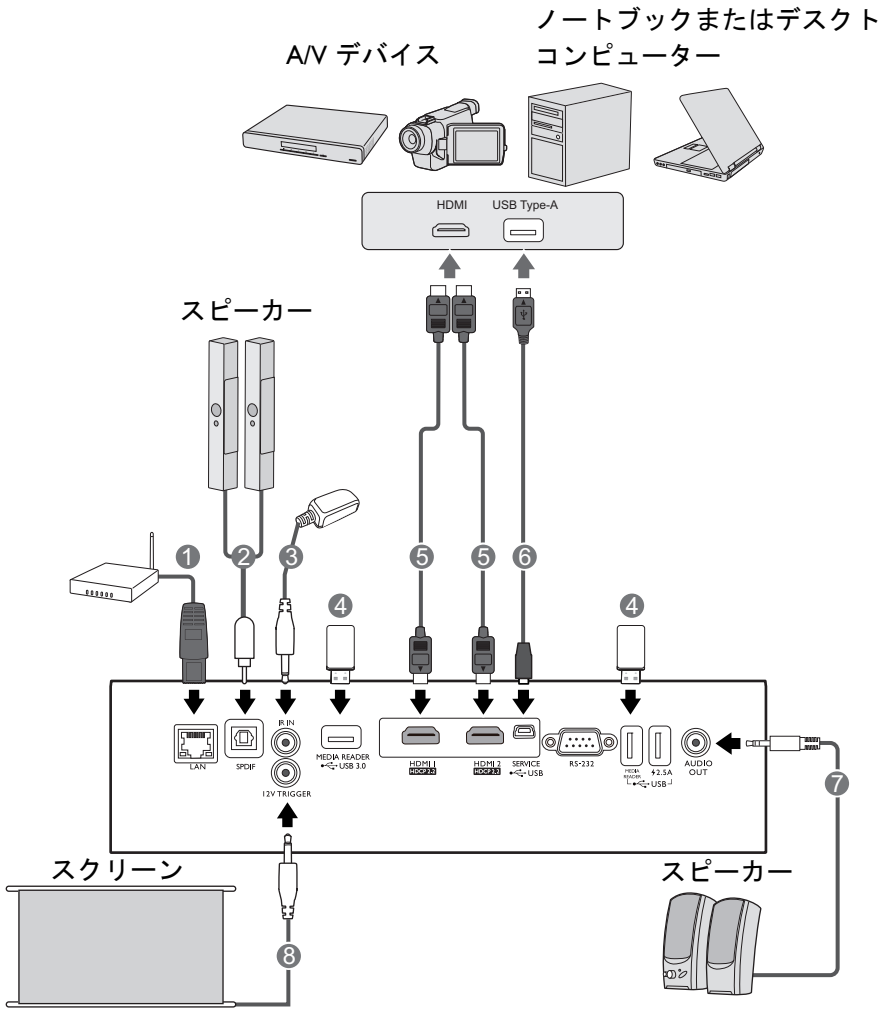
1. プロジェクターの △/▽ か、リモコンの ▲/▼ を押します。
2. **台形補正**ページが表示されたら、△/▼ を押して画像上部の台形歪みを補正します。▽/▲ を押すと、画像の下部の台形歪みが補正されます。完了したら、**BACK** を押して変更内容を保存し、終了します。
3. **台形補正**補正ページをリセットするには、**OK** を 2 秒間押します。



接続

信号ソースをプロジェクターに接続する際には、次の点を確認してください。

1. 接続を行う前にすべてのデバイスの電源をオフにします。
2. 各ソースに正しい信号ケーブルを使用します。
3. ケーブルがしっかり差し込まれていることを確認します。

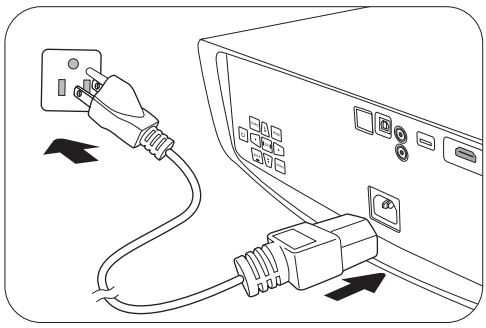


1. RJ-45 ケーブル
2. SPDIF オーディオ ケーブル
3. IR エクステンダー ケーブル
4. USB フラッシュドライブ
5. HDMI ケーブル
6. USB ケーブル（Type-A・トゥ・Mini-B ）
7. オーディオ ケーブル
8. 12V トリガーケーブル

- 上に示す接続図のケーブルは、本機に付属していません（詳細は、7 ページのパッケージ内容を参照してください。）ケーブルはお近くの電気店でお求めください。
- 接続図は参照用です。プロジェクターの背面にある接続ジャックは、プロジェクターのモデル毎に異なります。
- 多くのノートブックでは、プロジェクターを接続すると外付けビデオポートはオンになりません。通常は FN + モニターの記号が付いた機能キーを同時に押すと、外付けディスプレイをオン / オフにすることができます。FN と記号が記された機能キーを同時に押します。ノートブックのキーの組み合わせについては、ノートブックの説明書をお読みください。
- 正しいビデオソースが選択されているにもかかわらず、電源をオンにしても選択したビデオイメージが表示されない場合は、ビデオソースの電源がオンになっていて正しく動作していることを確認してください。また信号ケーブルが正しく接続されていることを確認します。

操作

プロジェクターの起動



1. 電源コードを繋ぎます。コンセントのスイッチをオンにします（該当する場合）。電流が流れると、プロジェクターの電源インジケーターがオレンジ色に点灯します。
2. プロジェクターの ⏻、またはリモコンの | を押すと、プロジェクターが起動します。電源インジケーターが緑色に点滅し、投写されると緑色に点灯します。

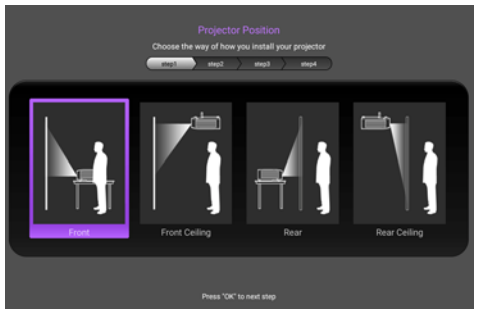
   起動処理には約 30 秒かかります。起動処理の後半で、スタートアップロゴが表示されます。

   必要であれば、フォーカスリングを使って画像の鮮明さを調整してください。
3. 初めてプロジェクターを起動すると、プロジェクターの設定手続きを案内するセットアップ ウィザードが開きます。すでに設定が完了している場合は、これを省略して次のステップに進んでください。
   - プロジェクターかリモコンの矢印キー (◂/▸/▴/▾) を使って、メニューアイテムを移動します。
   - **OK** を使って、選択したメニューアイテムを確定します。

ステップ 1：

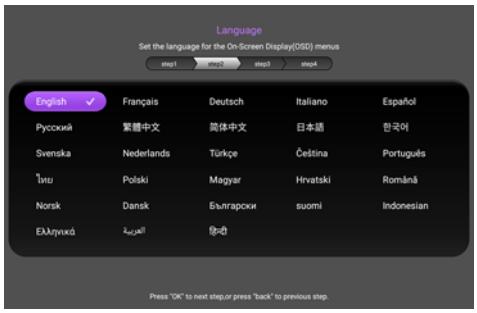
プロジェクタの位置を指定します。

プロジェクターの設置については、設置場所の選択を参照してください。



ステップ 2：

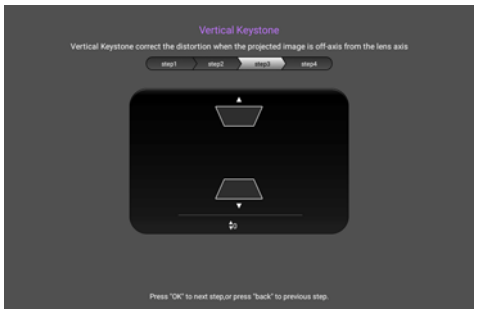
OSD **言語**を決定します。



ステップ 3：

台形補正を指定します。

台形補正についての詳細は、台形補正をご覧ください。

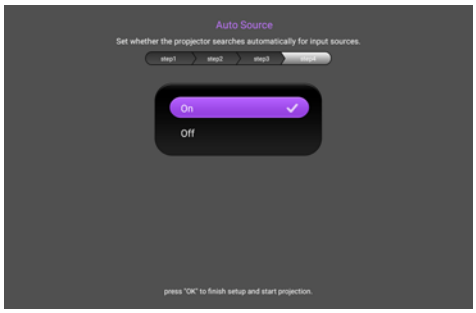


ステップ 4：

自動ソース探知を指定します。

プロジェクターがオンのとき、有効な信号を自動的に検出したい場合は、**オン**を選択します。

初期設定が完了しました。



4. パスワードの入力を求められた場合は、矢印キーを押して 6 桁のパスワードを入力してください。21 ページのパスワード機能を使用するを参照してください。
5. 接続されているすべての機器の電源をオンにします。
6. プロジェクターが入力信号の検索を開始します。現在スキャン中の入力信号が表示されます。プロジェクターが有効な信号を検出しない場合は、入力信号が検出されるまで「信号なし」のメッセージが表示されます。

   入力信号を選択するには、**SOURCE** を押してください。23 ページの入力信号の切り替えを参照してください。

- 付属のアクセサリ（電源コードなど）を使って、感電や火災などの危険を防止してください。
- プロジェクターが前回使用したときから完全に冷め切っていない場合は、約 90 秒間冷却ファンが作動します。

- セットアップ ウィザードのスクリーンショットは参照用であり、実際の仕様とは異なる場合があります。
- 入力信号の周波数 / 解像度がプロジェクターの動作範囲を超えた場合、「対応範囲外」というメッセージがバックグラウンド スクリーンに表示されます。プロジェクターの解像度に合った入力信号に変えるか、入力信号を低い値に設定し直してください。50 ページのタイミングチャートを参照してください。
- 3 分たっても信号が検出されなければ、プロジェクターは自動的にエコモードに入ります。

メニューの使用方法

このプロジェクターは、オン スクリーン ディスプレイ (OSD) メニューを備えており、各種の調整や設定が行えます。

下の OSD スクリーンショットは参照用であり、実際の仕様とは異なる場合があります。

以下に OSD メニューの概要を紹介します。



1. メインメニューアイコン
2. メイン メニュー
3. サブメニュー
4. 現在の入力信号
5. 状態
6. 前のページに戻ったり、終了したりするには、**BACK** を押します。

OSD メニューにアクセスするには、プロジェクターまたはリモコンで **MENU** を押します。

- プロジェクターかリモコンの矢印キー (▲/▼/◄/►) を使って、メニューアイテムを移動します。
- プロジェクターかリモコンの **OK** を押して、メニューをオンにします。

プロジェクターの保護

セキュリティケーブルロックの使い方

盗難防止のために、プロジェクターは安全な場所に設置してください。または、プロジェクターを固定する為のセキュリティケーブルを購入してください。セキュリティバーは、プロジェクターの右側にあります。8 ページの項目 15 をご覧ください。セキュリティバーの穴にセキュリティケーブルを通し、近くにある動かしにくい家具など重たいものに固定します。

パスワード機能を使用する

パスワードの設定

1. **システム設定**：**詳細** > **パスワード**を選択します。**OK** を押します。すると**パスワード**ページが表示されます。
2. **パスワードの変更**を選択し、**OK** を押します。
3. 4 つの矢印キー（▲、▶、▼、◀）はそれぞれ 4 つの数字（1、2、3、4）を示しています。矢印キーを押して、6 桁のパスワードを入力して設定します。
4. 新しいパスワードを再度入力して新しいパスワードを確認してください。
   パスワードの設定が完了すると、オン スクリーン ディスプレイ (OSD) メニューは**パスワード**ページに戻ります。



5. **電源ロック**機能を有効にするには、▲/▼ を押して、**電源ロック**を選択し、次に ◀/▶ を押して**オン**を選択してください。再度同じパスワードを入力します。

- 入力した数字は画面上にはアスタリスク (*) で表示されます。本書の下の欄に設定したパスワードを書き留めておいてください。
- 一度パスワードを設定して電源オンロックを有効にすると、プロジェクターを起動するたびに正しいパスワードを入力しなければプロジェクターを使用することはできなくなります。

パスワードを忘れた場合

間違ったパスワードを入力すると、パスワードエラーメッセージが表示され、次に**現在のパスワード**というメッセージが表示されます。パスワードを完全に忘れてしまった場合は、パスワードのリコールを行ってください。22 ページのパスワードの呼び戻しを行うには を参照してください。



パスワード入力を続けて 5 回間違えると、プロジェクターは間もなく自動的にシャットダウンします。

パスワードの呼び戻しを行うには



1. **OK** を 3 秒間押し続けます。スクリーン上にコード化された番号が表示されます。
2. 番号を書き留めて、プロジェクターをオフにしてください。
3. 番号をデコードするには、サポートセンターにお問い合わせください。お客様がこのプロジェクターを使用できる正当なユーザーであることを確認するために、購入を証明する文書の提示を求められる場合があります。

パスワードの変更

1. **システム設定**：**詳細** > **パスワード** > **パスワードの変更**を選択します。
2. **OK** を押します。**現在のパスワード**メッセージが表示されます。
3. 古いパスワードを入力してください。
   - パスワードが正しく入力されると、「**新しいパスワード**」という別のメッセージが表示されます。
   - パスワードが間違っていれば、パスワードエラーメッセージが表示され、「**現在のパスワード**」というメッセージが表示されますので、もう一度パスワードを正しく入力してください。変更内容をキャンセルするか、別のパスワードを入力するには、**BACK** を押してください。
4. 新しいパスワードを入力します。
5. 新しいパスワードを再度入力して新しいパスワードを確認してください。

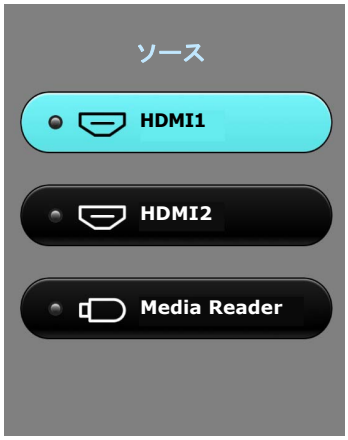
パスワード機能を無効にする

パスワード保護を解除するには、**システム設定**：**詳細** > **パスワード** > **電源ロック**を選択し、◄/► を押して**オフを選択します。現在のパスワード**メッセージが表示されます。現在のパスワードを入力してください。

- パスワードが正しく入力されると、OSD メニューの**パスワード**ページに戻ります。次回プロジェクターをオンにするときには、パスワードを入力する必要はありません。
- パスワードが間違っていれば、パスワードエラーメッセージが表示され、「**現在のパスワード**」というメッセージが表示されますので、もう一度パスワードを正しく入力してください。変更内容をキャンセルするか、別のパスワードを入力するには、**BACK** を押してください。

パスワード機能を無効にしても、再びパスワード機能を有効にするときに古いパスワードを入力するよう要求されますので、古いパスワードは忘れないように記録し保管しておいてください。

入力信号の切り替え



プロジェクターは同時に複数の装置に接続することができます。ただし一度に表示できる装置は 1 台です。起動時にプロジェクターは自動的に有効な信号を検出します。

プロジェクターに自動的に信号を検出させるためには、**システム設定：基本** > **自動ソース探知**メニューが**オン**になっていることを確認してください。

ソースの選択：

1. **SOURCE** を押します。するとソース選択バーが表示されます。
2. 任意の信号が選択されるまで **▲/▼** を押し、次に **OK** を押します。

   検出されると、選択した入力源の映像が表示されます。プロジェクターに複数の装置が接続されている場合は、ステップ 1-2 を繰り返すと別の信号を検出することができます。

- 入力信号を変えると、そのたびに投写画像の輝度も変わります。
- 最高の画質を得るには、プロジェクターのネイティブ解像度で出力できる入力信号を選択、使用する必要があります。これ以外の解像度を使用すると、「縦横比」の設定によってプロジェクターが画像の縦横比を変更してしまうため、画像が歪んだり、鮮明さが失われたりします。36 ページの縦横比を参照してください。

Media Reader からプレゼンテーションを行う

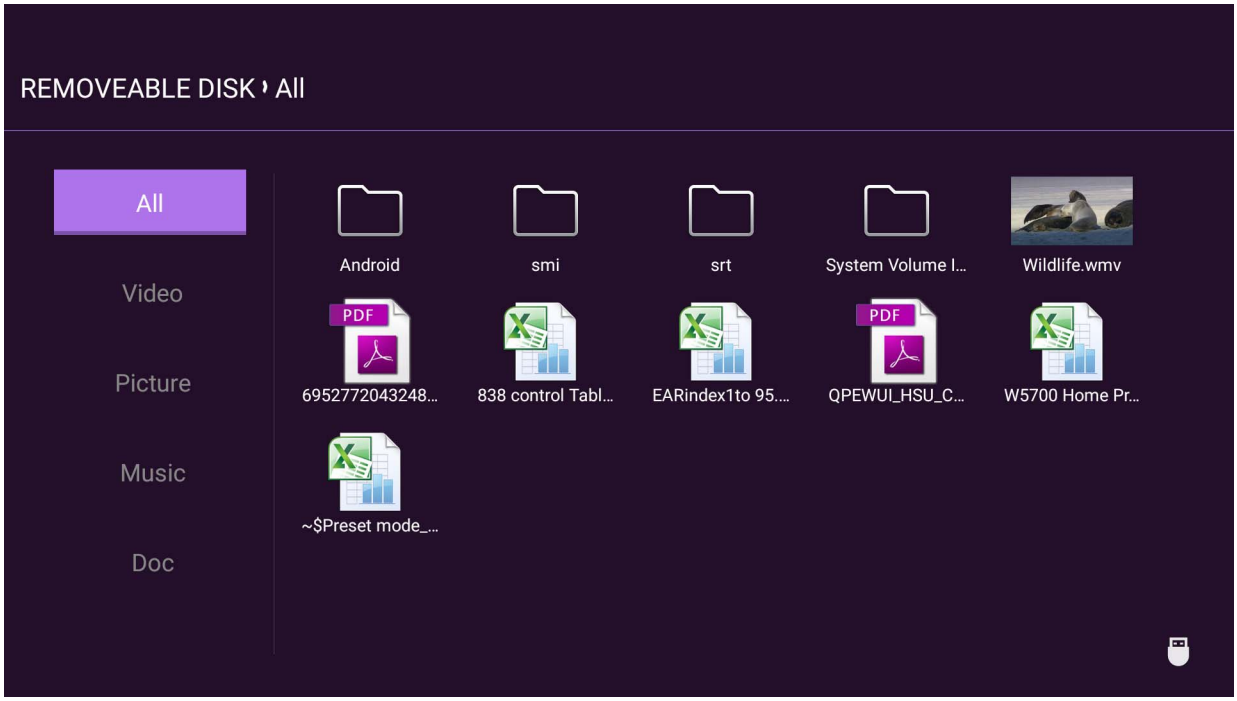
プロジェクターの MEDIA READER (USB) ポートは、プロジェクターに接続された USB フラッシュ ドライブに保管された画像やドキュメント ファイルを参照する時に使用します。これを使用することにより、コンピューターのリソースを使用する必要がなくなります。

対応ファイル形式

ビデオフォーマット	オーディオフォーマット	画像フォーマット
• MPEG1	• MPEG1/2 レイヤー 1	• JPEG ベースライン
• MPEG4	• MPEG1/2 レイヤー 2	• JPEG プログレッシブ
• H.263	• FLAC	• PNG 非インタレース
• モーション JPEG		• PNG インタレース
		• BMP

ファイルを表示する

1. プロジェクターの背面にある **MEDIA READER** ポートの 1 つに USB フラッシュドライブを接続します。
2. **SOURCE** を押して**メディアリーダー**を選択します。内蔵されたメディアリーダーのメインページが表示されます。
3. **▲/►/▼/◄** を押すと選択できます。**OK** を押すとサブフォルダに移動するか、ファイルを表示します。
4. ファイルが表示されたら、**OK** を押して **▲/►/▼/◄** を押すと次の操作を実行できます。または、**BACK** を押すと前のページに戻ります。



• ビデオクリップ観賞用のボタン機能

ボタン	説明
OK	ビデオを再生 / 一時停止します。
▲/▼	ビデオクリップを順番に再生します。
◀/▶	ビデオを巻き戻し / 早送りします。
BACK	サムネイルページに戻ります。

• 画像観賞用のボタン機能

ボタン	説明
OK	1. 機能メニューを開きます。 2. 次の項目がハイライトされているときには、**OK** を押して機能を有効にしてください。  スライドショー: 同一フォルダ内のすべての画像を表示する方法を設定するには、▲/▶/▼/◀ をお使いください。  画像を回転: 画像を右回りに回転させます。  画像をリサイズ: 画像を拡大します。元のサイズに戻すには、**BACK** を押します。  戻る: 前の画像に戻ります。  次へ: 次の画像に進みます。
BACK	サムネイルページに戻ります

• 音楽再生用のボタン機能

ボタン	説明
OK	次の項目がハイライトされているときには、**OK** を押して機能を有効にしてください。  プレイリストを表示します。リストから曲を選択するには、▲/▼ を使用します。プレイリストの選択を解除するには、**BACK** を押します。  前の曲に戻ります。  次の曲に進みます。  音楽を再生 / 一時停止します。  再生、1 回再生、ランダムなど、音楽をどのように再生するかを設定します。
BACK	サムネイルページに戻ります

• ドキュメント表示用のボタン機能

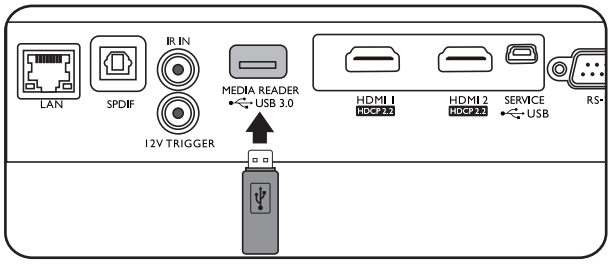
ボタン	説明
▲/▼	ページを上 / 下にスクロールします。 PowerPoint ファイルを表示するときには、画面の指示に従ってページを表示する方法を設定してください。

ファームウェアのアップグレード

スムーズに処理を行うためには、次の手順に入る前にファームウェアを更新してください。

1. **情報** > **ファームウェアバージョン**メニューからファームウェアバージョンを確認し、書き留めてください。
2. BenQ サービスセンターに電話でバージョン番号を伝え、お使いの製品にファームウェアの互換性の問題がないか確認してください。

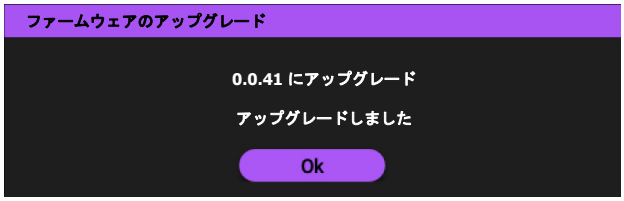
1. BenQ ホームページを開き、**Product page（製品名）** > **Support（サポート）** > **Software（ソフトウェア）**を選択して最新のファームウェアファイルをダウンロードしてください。
2. ダウンロードしたファイルを解凍し、「update_signed.zip」という名前のファイルを USB フラッシュドライブに保存します。
3. プロジェクターの背面にある USB 3.0 ポートに USB フラッシュ ドライブを接続します。



4. **システム設定：詳細** > **ファームウェアのアップグレード**メニューに進み、**OK** を選択します。

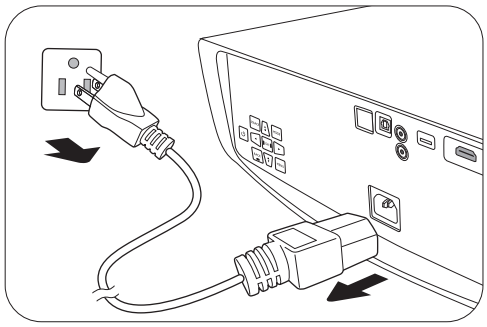


5. **はい**を選択してファームウェアをアップグレードします。ファームウェアをアップグレードしている間は、プロジェクターの電源を入れたままにしておいてください。
6. メッセージが表示されたら、ファームウェアのアップグレードは完了します。



プロジェクターをシャットダウンする

1. ⏻ を押すと、確認を促すメッセージが表示されます。数秒以内に応答しなければ、メッセージは自動的に消えます。
2. 再び ⏻ を押します。電源インジケーターがオレンジ色に点滅して投写ランプが消灯した後、プロジェクターを冷却するためにファンが約 90 秒間動作を続けます。
3. 冷却処理が完了したら、電源インジケーターがオレンジに点灯し、ファンが停止します。電源コードをコンセントから抜きます。



- ランプを保護するため、冷却プロセスの間はプロジェクターはいかなるコマンドにも反応しません。
- プロジェクターを切った直後に再び電源を入れると、高熱によりランプの寿命が短くなる場合がありますのでお止めください。
- ランプの寿命は、環境条件と使用条件により異なります。

メニューの操作

メニュー システム

オン スクリーン ディスプレイ (OSD) メニューは、選択した信号のタイプと使用するプロジェクターのモデルにより異なります。

メニューアイテムはプロジェクターが最低 1 つの有効な信号を検出しなければ有効にはなりません。プロジェクターに装置が接続されていなかったり、信号が何も検出されなければ、限られたメニューアイテムにしかアクセスすることができません。

メイン メニュー	サブメニュー		オプション
ピクチャ	ピクチャ モード		Bright/Vivid TV/Cinema (Rec. 709)/D. Cinema/User/ISF Night/ISF Day/Silence/3D/HDR10/HLG
	ユーザーモード管理	設定の読み込み元	
		ユーザーモードに別名を付ける	
	輝度		0–100
	コントラスト		0–100
	色		0–100
	色調		0–100
	シャープネス		0–15
	詳細設定	ガンマ選択	1.8/2.0/2.1/2.2/2.3/2.4/2.5/2.6/BenQ
		HDR 輝度	-2 – +2
		色温度	プリセット / 赤ゲイン / 緑ゲイン / 青ゲイン / 赤オフセット / 緑オフセット / 青オフセット
		色管理	原色 / 色相 / 彩度 / ゲイン
		CinemaMaster	カラーエンハンサ / 肌色 /Pixel Enhancer 4K/Motion Enhancer 4K
		ノイズ軽減	低 / 中 / 高 / オフ
		ダイナミック絞り	オフ / 低 / 中 / 高
		Brilliant Color	オン / オフ
		ワイド色域	オン / オフ
		ライトモード	ノーマル / 省電力 /SmartEco
	現在の画像モードをリセット		リセット / キャンセル
表示	オーバースキャン調整		0–3
	3D	3D モード	自動 / フレームパッキング / 上 - 下 / サイドバイサイド / オフ
		3D 逆同期	
	HDR		自動 / オフ
	Silence		オン / オフ

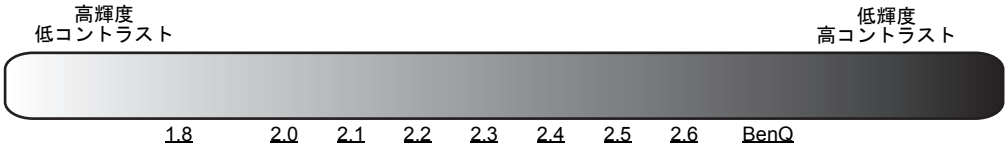
インストール	プロジェクタの位置		正面 / 天井正面 / 背面 / 天井背面
	テストパターン		オン / オフ
	縦横比		自動 /4:3/16:9/ 歪み 2.4:1/ 歪み 16:9
	12V トリガー		オン / オフ
	高地対応モード		オン / オフ
ネットワーク設定	LAN の設定	有線 LAN	状態 /DHCP/IP アドレス / サブネットマスク / 既定のゲートウェイ / DNS サーバー / 適用
		AMX デバイス検索	オン / オフ
		ネットワーク待機	ネットワーク待機を有効化 / ネットワーク待機を自動的に無効化
システム設定：基本	言語		English / Français / Deutsch / Italiano / Español / Русский / 繁體中文 /简体中文 /日本語 / 한국어 / Svenska / Nederlands / Türkçe / Čeština / Português / ไทย / Polski / Magyar / Hrvatski / Română / Norsk / Dansk / Български / Suomi/Indonesian/ Ελληνικά / العربية / हिन्दी
	スプラッシュ スクリーン		BenQ/ 黒 / 青
	自動オフ		無効 /5 分 /10 分 /15 分 /20 分 / 25 分 /30 分
	ダイレクト電源オン		オン / オフ
	メニュー設定	メニュー位置	中央 / 左上 / 右上 / 右下 / 左下
		メニュー表示時間	常にオン /5 秒 /10 秒 /15 秒 /20 秒 / 25 秒 /30 秒
		アラームメッセージ	オン / オフ
	信号に別名を付ける		
	自動ソース探知		オン / オフ
システム設定：詳細	ランプ設定	ランプ タイマーをリセット	リセット / キャンセル
		ランプ タイマー	
	HDMI 設定	HDMI 範囲	自動 / フル / 制限中
		HDMI イコライザー	HDMI-1
			HDMI-2
	パスワード	パスワードの変更	
		電源ロック	オン / オフ
	キーロック		オン / オフ
	LED インジケータ		オン / オフ
	全設定クリア		リセット / キャンセル
	ISF		（パスワードの入力）
	ファームウェアのアップグレード		

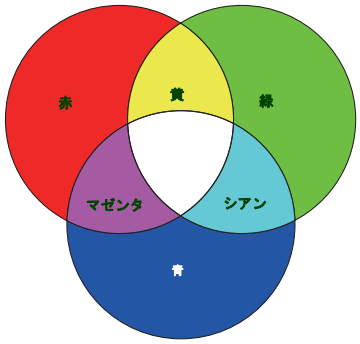
情報	**ソース**
	ピクチャ モード
	解像度
	カラー システム
	色域
	ライト使用時間
	3D 形式
	ファームウェアバージョン
	サービスコード

ピクチャメニュー

ピクチャ モード	このプロジェクターは操作環境や入力信号の画像タイプによって自由に選択できるように、いくつかのピクチャモードが設定されています。 • **Bright**：画像の輝度を最大限明るくします。このモードは、輝度を最高に明るくする必要がある環境に適しています（プロジェクターを明るい部屋で使用する場合など）。 • **Vivid TV**：適切な彩度の色、調整されたシャープネス、高い輝度値と、照明が暗いリビングでムービーを鑑賞するのに最適です。 • **Cinema (Rec. 709)**：リビングなど比較的明るい部屋で 1080P SDR ムービーを再生するために、100% Rec.709 で忠実に色を再現し、輝度レベルを低くして深いコントラストを実現します。 • **D. Cinema**：このモードでは、100% DCI-P3 の色域に基づき輝度レベルを低くして深いコントラストを実現します。商用シネマのような完全な暗室で 4K SDR ムービーを鑑賞するときに適しています。 • **User**：現在有効なピクチャモードを元にカスタマイズした設定を呼び出します。31 ページのユーザーモード管理を参照してください。 • **Silence**：アコースティック ノイズを低減します。非常に静かな環境でムービーを見たいときに、プロジェクターのノイズが邪魔にならないようにします。このモードは**表示** > **Silence** メニューが**オン**に設定されている場合にしか使用できません。 • **3D**：3D 映像を見るとき 3D 効果が有効になるよう最適化されています。  このモードは、3D 機能が有効になっている場合にのみ使用できます。

ピクチャ モード（続く）	• **HDR10/HLG**：輝度と色のコントラストを高める高ダイナミックレンジ効果を実現します。このモードは、100% Rec. 709 の色域で 4K Blu-ray HDR10 や HLG ストリーミングコンテンツを観賞するのに適しています。**ピクチャ モード** 4K Blu-ray HDR10 や HLG ストリーミングコンテンツからメタデータや EOTF 情報を検出すると、**HDR10/HLG** に自動的に切り替わります。 • このモードは、**表示** > **HDR** が**自動**に設定され、HDR コンテンツが検出された場合にのみ使用できます。 • 色をより忠実に再現するには、色域を **HDR10/HLG** モードで 100% DCI-P3 に拡大することができます。**ワイド色域**を**ピクチャ** > **詳細設定**メニューでオンにします。
ユーザーモード管理	現在有効なピクチャモードが目的に合致しない場合は、ユーザー定義モードが 1 つあります。ピクチャモードの 1 つ（**User** 以外）をスターティングポイントとして使用し、そこから設定をカスタマイズすることができます。 **• 設定の読み込み元** 1. **ピクチャ** > **ピクチャ モード**を選択します。 2. ◄/► を押して **User** を選択します。 3. ▼ を押して**ユーザーモード管理**を選択し、次に **OK** を押してください。すると**ユーザーモード管理**ページが表示されます。 4. **設定の読み込み元**を選択し、**OK** を押します。 5. ▼/▲ を押して、用途に最も合った画像モードを選択してください。 6. 完了したら、**OK** と **BACK** を使って**ピクチャ**メニューに戻ってください。 7. ▼ を押して変更したいサブメニューアイテムを選択し、◄/► を使って値を調整します。調整内容によって選択したユーザーモードが定義されます。 **• ユーザーモードに別名を付ける** カスタマイズしたピクチャモードに別名を付けます（**User**）。新しい名前はアルファベット（A-Z、a-z）、数字 (0-9)、およびスペース (_) を使って 9 文字以内で指定することができます。 1. **ピクチャ** > **ピクチャ モード**を選択します。 2. ◄/► を押して **User** を選択します。 3. ▼ を押して**ユーザーモード管理**を選択し、次に **OK** を押してください。すると**ユーザーモード管理**ページが表示されます。 4. ▼ を押して**ユーザーモードに別名を付ける**を選択し、次に **OK** を押してください。すると**ユーザーモードに別名を付ける**ページが表示されます。 5. ▲/►/▼/◄ および **OK** を使って、文字を設定してください。 6. 完了したら、**BACK** を押して変更内容を保存し、終了します。

輝度	値を高くするほどイメージの輝度が増加します。このコントロールを調整すると、イメージの黒い領域が黒く表示されるため、暗い領域の詳細が見えるようになります。
コントラスト	値を高くするほどコントラストが増加します。選択した入力と表示環境に合わせて輝度を調整した後、これを使って白のピークレベルを設定することができます。
色	設定を下げると、彩度が低くなります。逆に値を上げすぎると、画像の色が不自然に強調されてしまいます。
色調	値を高くするほど緑がかった画像になります。値を低くするほど赤みがかった画像になります。
シャープネス	値を高くするほど画像がシャープになります。
詳細設定	• **ガンマ選択** ガンマとは、入力ソースと画像の輝度の関連性のことです。 • **1.8/2.0/2.1/BenQ**：投写具合によって適切な値を選択してください。 • **2.2/2.3**：画像の輝度を上げます。明るい環境、会議室、リビングルームに最適です。 • **2.4/2.5**：暗室でムービーを鑑賞するのに最適です。 • **2.6**：ほとんどが暗いシーンで構成されるムービーに最適です。  • **HDR 輝度** プロジェクターは、入力源に応じて映像の輝度レベルを自動調整できます。画質を高めるためには、手動で調整することも可能です。値を上げると、映像が明るくなります。逆に値を下げると、映像は暗くなります。 • **色温度** いくつかのプリセット色温度設定が使用できます。設定は、選択した入力タイプによって異なります。 • **ノーマル**：白の色合いを通常に保ちます。 • **冷**：画像を青みがかった白で表示します。 • **ランプ ネイティブ**：色温度はランプの元の状態のまま、輝度は高くなります。この設定は、輝度を最高に明るくする必要がある環境に適しています（プロジェクターを明るい部屋で使用する場合など）。 • **暖**：画像を赤みがかった白で表示します。 次のオプションを調整すると、任意の色温度を設定できます。 • **赤ゲイン / 緑ゲイン / 青ゲイン**：赤、緑、青のコントラストレベルを調整します。 • **赤オフセット / 緑オフセット / 青オフセット**：赤、緑、青の輝度レベルを調整します。

詳細設定（続く）	• **色管理** カラーマネージメントでは、6 色 (RGBCMY) を調整することができます。それぞれの色を選択すると、その色の範囲と彩度を個別に自在に調整することができます。 • **原色**：赤、黄、緑、シアン、青、マゼンタの中から色を選択します。 • **色相**：範囲を広げると、隣り合う 2 色のより広い範囲の色が含まれます。各色がどのように関連し合っているかについては、図を参照してください。 例えば、赤を選択し、その範囲を 0 に設定した場合、投写画像の中で純粋な赤だけが選択されます。範囲を広げると、黄に近い赤やマゼンタに近い赤も含まれます。  • **彩度**：見やすいように値を調整してください。調整内容は直ちに画像に反映されます。例えば、赤を選択し、その範囲を 0 に設定した場合、純粋な赤の彩度だけが影響を受けます。 • **ゲイン**：見やすいように値を調整してください。選択した原色のコントラスト レベルが影響を受けます。調整内容は直ちに画像に反映されます。 **彩度**はビデオ映像の色の量のことです。値を低くすると彩度が低くなります。「0」に設定すると、画像から完全に色を抜いてしまいます。彩度が高すぎると、色が濃すぎて非現実的な色になってしまいます。 • **CinemaMaster** • **カラーエンハンサ**：彩度を柔軟に調整することができます。これは、飽和色、感触、中間色相、微妙な色素を完璧に表現するために、複雑な色アルゴリズムを調整します。 • **肌色**：人の肌色を調整するために、画像の他の色は一切変更せず、色相のみをスマートに調整します。これは、投写光線により肌の色が抜け落ちるのを防ぎ、肌の色を最も美しい色合いで再現します。 • **Pixel Enhancer 4K**：色、コントラスト、テクスチャなどの要素において、Full HD コンテンツを大幅に向上させる超高解像度テクノロジーです。スクリーンから飛び出すような非常にリアルな画像を再現するために、表面の詳細まで調整する、ディテールエンハンス技術です。シャープネス レベルと詳細な要素を細かく調整できます。 • **Motion Enhancer 4K**：動作予測 / 動作補正技術を使って映像の自然な流れを向上させます。 • **ノイズ軽減**：異なるメディアプレーヤによる電気画像ノイズを軽減します。

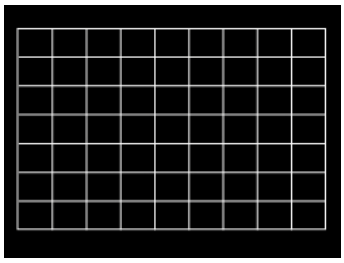
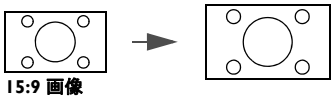
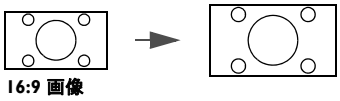
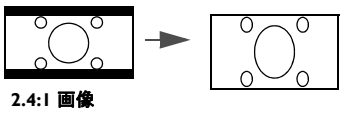
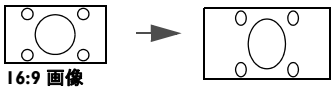
詳細設定（続く）	• **ダイナミック絞り**：投写画像の黒のレベルを自動的に変更して、コントラスト比を向上させます。 プロジェクターを起動すると、**ダイナミック絞り**が 3 - 15 秒間調整されます。この処理が行われる間、モーターが作動する音が聞こえます。 プロジェクターの電源を入れると、**ダイナミック絞り**が動画のシーンに基づいて調整を行います。この処理の間も、モーターの作動音が聞こえます。**オフ**を選択すると、無音にできます。 • **Brilliant Color**：この機能は新しい色処理アルゴリズムとシステムレベルでの向上を利用して、よりリアルで鮮やかな色を提供すると共に、明るさをより高めることができます。ビデオや自然のシーンでよく見られる中間調イメージであれば、50% 以上も輝度を上げることができますので、リアルで自然な色を再現することが可能です。高画質なイメージを表示したい場合は、**オン**を選択してください。 **オフ**に設定されている場合は、**色温度**機能は使用できません。 • **ワイド色域**：色域は、デバイスが表示する可能性のある色域を示します。ディスプレイ機器の色域レベルを定義するには、CIE 1976、sRGB、Adobe RGB、NTSC など、いくつかの規格があります。 この機能は、**HDR10** または **HLG** が選択されている場合にしか使用できません。本機では、**オン**を選択すると入力源に最も適した色域が自動的に適用されます。**ピクチャ** > **ピクチャ モード** > **D. Cinema** を選択すると、自動的にオンになります。他の設定では、このメニューは選択できません。 • **ライトモード**：モードの中から適切なランプ電源を選択します。41 ページのランプ寿命を延長するを参照してください。
現在の画像モードをリセット	選択した**ピクチャ モード**（プリセット モード、**User** を含む）の調整内容がすべて初期値に戻されます。 1. **OK** を押します。すると確認のメッセージが表示されます。 2. ◄/► を押して **リセット**を選択し、**OK** を押してください。現在のピクチャモードが工場出荷時の設定に戻ります。

表示メニュー

オーバースキャン調整	四辺の画質が悪いエリアを隠します。 値を高くするほどより多くのエリアが隠され、スクリーンは幾何学的に正確に埋め尽くされます。0 に設定すると、画像が 100% 完全に表示されます。
3D	本機は、PlayStation コンソール（3D ゲームディスク使用）、3D Blu-ray プレーヤー（3D Blu-ray ディスク使用）等のコンテンツや、3D 対応ビデオ装置から転送された 3D コンテンツを再生できます。3D ビデオデバイスをプロジェクターに接続した後は、BenQ 3D メガネを着用してオンになっていることを確認してください。 3D コンテンツをご覧になる場合： • 画像がずれて見えることがありますが、これは故障ではありません。 • 3D コンテンツをご覧になる際は、適度な休憩を取ってください。 • 疲労感や不快感を感じた場合は、3D コンテンツを見るのを止めてください。 • スクリーンからの距離は、スクリーンの高さの約 3 倍を保ってください。 • 光に敏感な方、暑さに弱い方、その他既往症のある方は、3D コンテンツの鑑賞はお勧めしません。 • 3D メガネを着用しなければ、映像は赤、緑、または青が強調されて見えることがあります。3D メガネを着用して 3D コンテンツを見ると、このような偏りは見られません。 • 4K 映像は表示できません。 **• 3D モード** デフォルト設定は**自動**で、3D コンテンツが検出された場合はプロジェクターが自動的に適切な 3D フォーマットを選択します。プロジェクターが 3D フォーマットを識別できない場合は、**OK** を押して**フレームパッキング**、**上 - 下**、**サイドバイサイド**の中から 3D モードを選択してください。 この機能が有効なとき： • 投写画像の輝度レベルが下がります。 • **ピクチャ モード**は調整できません。 **• 3D 逆同期** 3D 画像が歪んでいるときには、この機能を有効にして左目と右目の画像を入れ替えると 3D 画像が見やすくなります。
HDR	本機は、HDR 入力源に対応しています。これは入力源のダイナミックレンジを自動的に検出し、広範囲のダイナミックレンジで映像を再現できるように設定を最適化します。一方、**ピクチャ モード**は HDR に切り替えた後は調整できなくなります。

Silence	この機能が有効なとき： • 音響ノイズが最小化されます。 • ディスプレイ解像度は 1920 x 1080 になります。 • **ピクチャ** > **ピクチャ モード**メニューが **Silence** に変わり、グレイ表示されます。

インストールメニュー

プロジェクタの位置	プロジェクターは、天井またはスクリーンの背後に設置したり、1 枚あるいは複数の鏡を使用して設置することができます。12 ページの設置場所の選択を参照してください。
テストパターン	イメージサイズとフォーカスを調整し、投写画像に歪みがないことを確認するのに役立ちます。 
縦横比	入力信号ソースによって、画像の縦横比を設定するいくつかのオプションがあります。 • **自動**：画像をプロジェクター本来の解像度の水平幅または垂直高に合わせて表示します。  15:9 画像 • **4:3**：スクリーンの中央が 4:3 の縦横比になるようにイメージを調整します。  4:3 画像 • **16:9**：スクリーンの中央が 16:9 の縦横比になるようにイメージを調整します。  16:9 画像 • **歪み 2.4:1**：アナモルフィック レンズに合わせて画像を縦に引き延ばします。横の本来の解像度はそのままに、縦の解像度を元の画像の 1.32 倍に調整します。  2.4:1 画像 • **歪み 16:9**：アナモルフィック レンズに合わせて画像を水平に縮めます。縦の本来の解像度はそのままに、横の解像度を元の画像の 0.75 倍に調整します。  16:9 画像
12V トリガー	**オン**を選択すると、プロジェクターの電源を入れたとき電子信号が送信されます。

高地対応モード	海抜 1500 m ～ 3000 m、気温 0°C ～ 30°C の環境で本製品を使用する場合は、**高地対応モード**を使用されるようお勧めします。 「**高地対応モード**」を選択した場合は、システムの性能を維持するために冷却ファンが回転速度を速めるために操作ノイズが高くなる場合があります。 上記の場合を除き、それ以外の極限環境でプロジェクターを使用すると、プロジェクターが自動的にシャットダウンする場合があります。これはプロジェクターを過熱から保護するために施された機能です。このような場合は、高地モードに切り替えてみてください。ただし、これはこのプロジェクターが極限状態でも操作可能であるということを保証するものではありません。  高度 0 m ～ 1500 m、温度 0°C ～ 35°C の範囲内では**高地対応モード**は使用しないでください。このような環境でこのモードを有効にすると、プロジェクターが過度に冷却されてしまいます。

ネットワーク設定メニュー

LAN の設定	• **有線 LAN**：詳細は、「BenQ ネットワーク プロジェクター取扱説明書」を参照してください。
	• **AMX デバイス検索**：この機能が**オン**のときには、プロジェクターを AMX コントローラで検出することができます。
	• **ネットワーク待機**：プロジェクターがスタンバイモードのとき、ネットワークコントロールの基本設定および詳細設定が表示されます。
	  • **ネットワーク待機を有効化**：**オン**を選択すると、プロジェクターがネットワークコントロールが可能な限り、最低の電力消費量のまま維持されます。**オフ**を選択すると、プロジェクターはネットワークから解除されます。
	  • **ネットワーク待機を自動的に無効化**：**ネットワーク待機を有効化**を**オン**に設定すると、ネットワーク操作が行われないときにネットワーク スタンバイ機能を無効にする時間枠を指定できます。**20 分** /**1 時間** / **3 時間** /**6 時間**を選択すると、プロジェクターは指定された時間枠が過ぎると非ネットワーク スタンバイ状態に切り替わります。**常に使用しない**を選択すると、プロジェクターが常にネットワークコントロールに接続された状態になります。

システム設定：基本メニュー

言語	オンスクリーン ディスプレイ (OSD) メニューの言語を設定します。
スプラッシュ スクリーン	プロジェクター起動時に表示されるロゴ画面を、ユーザーが選択することができます。
自動オフ	指定した時間を経過しても入力信号が検出されないときには、不要にランプの寿命を消耗しないように自動的にプロジェクターの電源をオフにします。
ダイレクト電源オン	電源コードから電源が供給されると、プロジェクターは自動的にオンになります。

メニュー設定	• **メニュー位置**：オン スクリーン ディスプレイ (OSD) メニューをオンにします。 • **メニュー表示時間**：最後にキーを押してからの OSD の表示時間を設定します。 • **アラームメッセージ**：アラーム メッセージをオンまたはオフにします。
信号に別名を付ける	現在の入力ソースに別名を付けます。 **信号に別名を付ける**ページで ▲/▼/◀/▶ および **OK** を使って接続した入力源の特性を設定します。 完了したら、**BACK** を押して変更内容を保存し、終了します。
自動ソース探知	プロジェクターに信号を自動検出することができます。

システム設定：詳細メニュー

ランプ設定	• **ランプ タイマーをリセット**：45 ページのランプタイマーをリセットしますを参照してください。 • **ランプ タイマー**：41 ページのランプ時間を知るにはを参照してください。
HDMI 設定	• **HDMI 範囲** 色の精度を補正するには、適切な RGB 色範囲を選択します。 • **自動**：受信した HDMI 信号の色域を自動的に選択します。 • **フル**：フル範囲の RGB 0-255 を使用します。 • **制限中**：制限付き範囲の RGB 16-235 を使用します。 • **HDMI イコライザー** 長距離でデータ通信を行う場合に、HDMI の画質を維持するために適切な値に設定します。
パスワード	21 ページのパスワード機能を使用するを参照してください。
キーロック	プロジェクターとリモコンのコントロールキーをロックしておくと、（例えばお子様によって）プロジェクターの設定が誤って変更されるのを防止することができます。**キーロック**がオンになっているときには、プロジェクターのコントロールキーは ⏻ **電源**を除き、どれも作動しません。 パネルキーのロックを解除するには、プロジェクターかリモコンで 3 秒間 ▶（右のキー）を押します。 パネルキー ロックを無効にせずにプロジェクターをオフにすると、プロジェクターを次回オンにしたときにもロックされたままの状態になっています。
LED インジケータ	LED 警告灯は消すことができます。暗室で映像を見るときに、警告灯の光が邪魔にならないようにします。

全設定クリア	すべての設定を工場出荷時の値に戻します。 次の設定は現在の設定値のまま維持されます：**ピクチャ モード**、**ユーザーモード管理**、**輝度**、**コントラスト**、**色**、**色調**、**シャープネス**、**詳細設定**、**プロジェクタの位置**、**LAN の設定**、**信号に別名を付ける**および**パスワード**。
ISF	ISF キャリブレーションメニューはパスワードにより保護されており、認証された ISF キャリブレータしかアクセスすることができません。ISF (Imaging Science Foundation) は最適なビデオ性能を実現するために業界が認める規格を入念に開発し、技術者と設置技術者のトレーニングプログラムに導入しました。これらの規格を採用することにより、BenQ ビデオディスプレイ装置から最適な画質を得ることができます。したがって、ISF 認証を受けた技術者により設定と調整を行うよう推奨します。 詳細は、www.imagingscience.com をご覧になるか、プロジェクターを購入された販売店へお尋ねください。
ファームウェアのアップグレード	ファームウェアをアップグレードします。26 ページのファームウェアのアップグレードを参照してください。

情報メニュー

現在のシステム状態	• **ソース**：現在の信号ソースを表示します。 • **ピクチャ モード**：**ピクチャ**メニューで選択したモードを表示します。 • **解像度**：入力信号のネイティブ解像度を表示します。 • **カラー システム**：入力システムフォーマットを表示します。 • **色域**：色域の状態を表示します。 • **ライト使用時間**：ランプの使用時間数が表示されます。 • **3D 形式**：現在の 3D モードが表示されます。 **3D 形式**は 3D が有効になっている場合にのみ使用できます。 • **ファームウェアバージョン**：プロジェクターのファームウェアバージョンが表示されます。 • **サービスコード**：プロジェクターのシリアル番号が表示されます。

メンテナンス

プロジェクターのお手入れ

レンズのクリーニング

表面に汚れやほこりが付いていたら、レンズのお手入れが必要です。レンズのお手入れを開始する前に、プロジェクターをオフにして完全に冷却してください。

- 圧縮空気スプレーを使ってほこりを取り除いてください。
- 汚れやしみが付いた場合は、レンズ クリーニング ペーパーまたはレンズ クリーナで湿らせた柔らかい布でレンズの表面を軽く拭きます。
- 研磨用パッド、アルカリ性 / 酸性クレンザー、研磨剤入りパウダー、揮発性溶剤（アルコール、ベンジン、シンナー、殺虫剤）などは一切ご使用にならないでください。ゴムやビニール部分にこのような素材を使用したり、長期間これらを接触したままの状態にしておくと、プロジェクターの表面やキャビネットの素材を傷つける場合があります。

プロジェクター ケースのお手入れ

ケースのお手入れを行う前に、27 ページのプロジェクターをシャットダウンするに記載されている正しい手順でプロジェクターの電源を切り、電源コードを抜いてください。

- ほこりや汚れを取り除くには、柔らかい、けば立ちのない布で拭きます。
- 落ちにくい汚れやしみを取り除くには、水で薄めた中性洗剤で布を湿らせて、ケースを拭きます。

ワックス、アルコール、ベンジン、シンナー、その他の化学洗剤は使用しないでください。こうした薬剤を使用すると、ケースを傷める場合があります。

プロジェクターの保管

長期間プロジェクターを保管する必要がある場合、次の手順に従ってください。

- 保管場所の温度と湿度が、プロジェクターの推奨範囲内であることを確認します。詳細は、48 ページの仕様を参照するか、販売店にお尋ねください。
- 調整脚をおさめます。
- リモコンから電池を取り外します。
- プロジェクターを元の梱包または同等の梱包にしまいます。

プロジェクターの移動

プロジェクターを搬送するときは、元の梱包または同等の梱包で行うことを推奨します。

ランプについて

ランプ時間を知るには

プロジェクターが作動している間、プロジェクターに内蔵されたタイマーがランプの使用時間（時間単位）を自動的に計算します。ランプ時間の計算方法は次の通りです。

1. ランプ使用時間 = (x+y+z) 時間、もし
   ノーマルモードでの使用時間 = x 時間
   省電力モードでの使用時間 = y 時間
   SmartEco モードでの使用時間 = z 時間
2. ランプ時間（低）= α 時間

$$\alpha = \frac{A'}{X} \times \chi + \frac{A'}{Y} \times y + \frac{A'}{Z} \times z$$ 、もし

X= **ノーマル**モードでのランプ寿命
Y= **省電力**モードでのランプ寿命
Z= **SmartEco** モードでのランプ寿命

X、Y、Z の中では A' が最長の寿命となります。

各ランプモードでの使用時間が OSD メニューに表示されます：
- 使用時間は累積され、**時間**単位で表示されます。
- 1 時間以下の場合は 0 時間として表示されます。

手動でランプ時間（低）を計算する場合、プロジェクタは各ランプモードでの使用時間を「分」で計算した後、時間単位に丸めるため、OSD メニューに表示される値とは誤差があるかもしれません。

ランプ時間を確認する：

1. **システム設定**：**詳細** > **ランプ設定**を選択して **OK** を押します。すると**ランプ設定**ページが表示されます。
2. ▼ を押して**ランプ タイマー**を選択し、**OK** を押してください。すると**ランプ タイマー**情報が表示されます。

また、**情報**メニューではランプ時間情報を見ることもできます。

ランプ寿命を延長する

- **ライトモード**の設定

ピクチャ > **詳細設定** > **ライトモード**を選択し、◀/▶ を押します。または、リモコンの **LIGHT MODE** を押して、モードの中から適切なランプ電源を選択してください。

プロジェクターを**省電力**または **SmartEco** モードで使用すると、ランプの寿命を延長することができます。

ランプモード	説明
ノーマル	ランプを完全に明るくします。
省電力	明るさを下げて、ランプを長く使えるようにします。また、ファンのノイズも小さくなります。
SmartEco	コンテンツの輝度レベルによっては電力消費量を調整します。

• **自動オフ**の設定

指定した時間を経過しても入力信号が検出されないときには、不要にランプの寿命を消耗しないように自動的にプロジェクターの電源をオフにします。

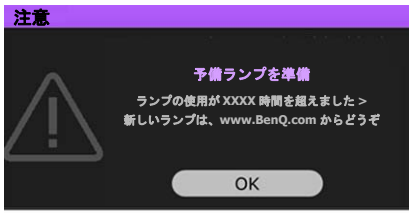
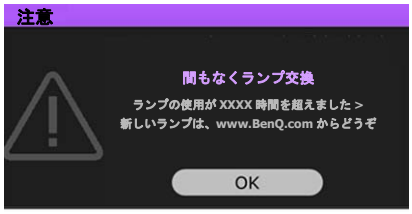
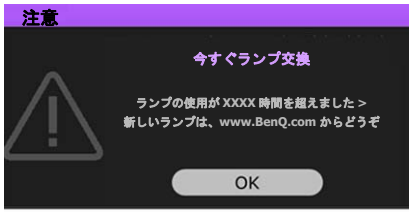
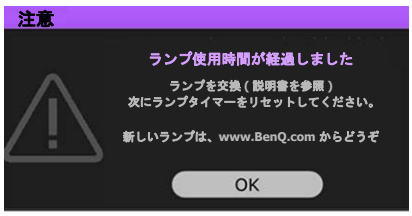
自動オフを設定するには、**システム設定：基本** > **自動オフ**を選択して ◄/► を押します。

ランプを交換する時期

ランプインジケーターが赤に点灯した場合、またはランプの交換時期であることを示すメッセージが表示された場合は、新しいランプを取り付ける前に、お買い上げの販売店、又はサポートセンターにお問い合わせください。古いランプを使用すると、プロジェクターの誤動作の原因となり、ランプが破裂することもあります。

- 投写イメージの明るさは、周辺光の状態および選択した入力信号のコントラスト / 輝度設定によって変わります。また投写距離の影響を直接受けます。
- ランプの明度は時間の経過に伴い暗くなります。また、ランプの個体差や使用条件によって、交換時期を迎える迄の時間に差があります。
- ランプが過熱すると、**LAMP（ランプインジケーターライト）**と **TEMP（温度警告ライト）**が点灯します。この場合は、電源をオフにして 45 分間ほど放置し、プロジェクターを常温に戻してください。このようにしても電源をオンにしたときにランプまたは温度インジケーターライトが点灯する場合は、販売店、又はサポートセンターご相談ください。46 ページのインジケーターを参照してください。

次のランプ警告が表示されたら、ランプを交換してください。

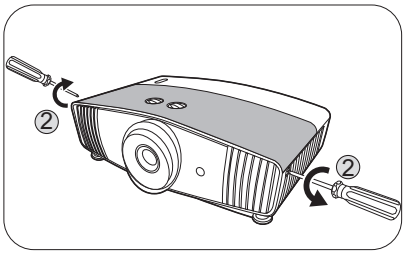
	動作を最適化するために、新しいランプを取り付けてください。通常プロジェクターを**省電力**モードで起動している場合は（41 ページのランプ時間を知るにはを参照してください）、次のランプ警告メッセージが表示されるまでプロジェクターを使用することができます。 **OK** を押すと、メッセージが消去されます。
	この時点でランプを交換されるよう強くお薦めします。ランプは消費アイテムです。ランプは使用を重ねる毎に明るさが徐々に失われます。これは正常な状態です。ランプが非常に暗くなったら、いつでもランプを交換してください。 **OK** を押すと、メッセージが消去されます。
 	プロジェクターを正常に動作させるには、ランプを交換してください。 **OK** を押すと、メッセージが消去されます。

上記のメッセージで「XXXX」の部分に表示される数字はモデルによって異なります。

ランプの交換（サービス担当者が行います）

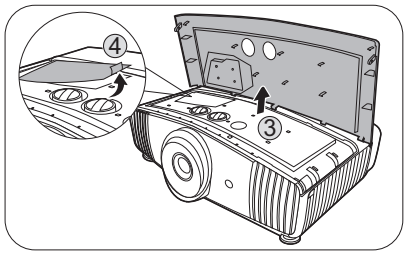
- 感電を防ぐため、ランプを交換する前には必ずプロジェクターの電源をオフにし、電源コードを抜いてください。
- 重度のやけどを負う危険を防ぐため、ランプを交換する前に、最低でも 45 分間はプロジェクターを冷却してください。
- 割れて鋭くなったランプのガラス片を取り除く場合は、指をけがしたり、内部部品を破損したりしないように、十分注意してください。
- 指のけがや、レンズに触れることによる画質の劣化を避けるため、ランプを取り外すときに空のランプケースには触れないでください。
- このランプの中には水銀が入っています。使用済みのランプは、自治体の回収規則に従って廃棄してください。
- プロジェクターを最高の状態でご使用いただくために、交換用ランプとして指定されたプロジェクター用ランプを購入されることをお薦めします。
- 天井に上下逆さに取り付けられているプロジェクターのランプを交換する場合は、ランプの破片で人体や目に負傷する危険性がありますので、ランプソケットの下には絶対に立たないでください。
- 破損したランプを処理するときには、部屋の通気をしっかりと行ってください。マスク、防護メガネ、ゴーグル、またはフェースシールドを着用になり、手袋など身体を保護するものも着用することをお勧めします。

1. 電源を切り、プロジェクターをコンセントから抜いてください。ランプがまだ熱い時には、ランプが冷却するまで約 45 分お待ちください。
2. ランプカバーをプロジェクターの側面に固定しているネジを緩めます。

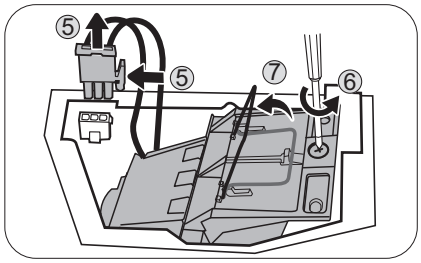


3. プロジェクターからランプカバーを外します。

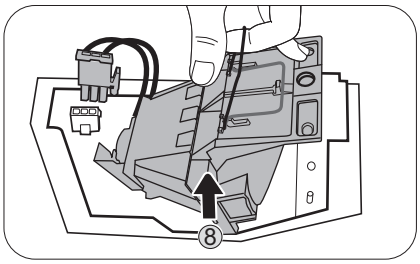
ランプ カバーを開いた状態で電源を入れないでください。



4. 透明な保護フィルムをはがします。
5. ランプ コネクターを外します。
6. ランプを固定しているネジを緩めます。
7. ハンドルを持ち上げます。

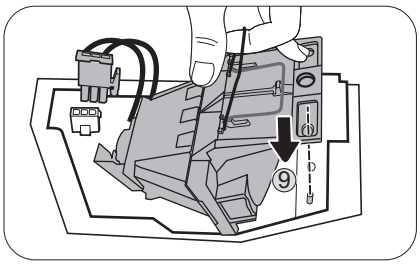


8. ハンドルを使ってゆっくりとランプをプロジェクターから引き出します。

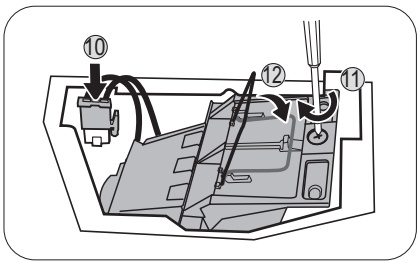


- 急激に引っ張るとランプが割れ、ガラスの破片がプロジェクター内に散乱します。
- 取り出したランプは水のかかる場所、子供の手が届く場所、可燃物の付近には置かないでください。
- ランプを取り出す際は、プロジェクター内に手を入れないでください。プロジェクター内部の鋭利なパーツでケガをする場合があります。内部の光学コンポーネントに手を触れると、色が均等に表示されなくなったり、投写画像が歪んだりする場合があります。

9. 図に示す通り、新しいランプを挿入してください。ランプの端と 2 個の突起部分をプロジェクターに合わせてランプを少し押すと、正しい位置に固定されます。

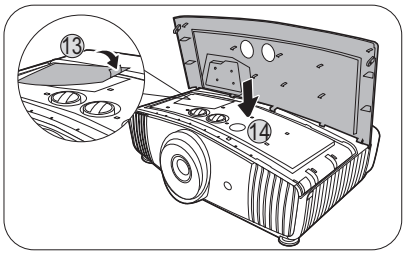


10. ランプ コネクターを挿入します。
11. ランプを固定するネジを締めます。
12. ハンドルをフラットに倒して、しっかりとロックしてください。

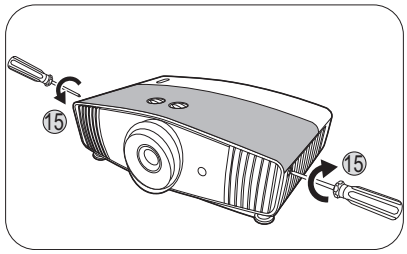


- ネジの締め方がゆるいと接触が悪くなり、故障の原因になる場合があります。
- ネジは締めすぎないでください。

13. 透明な保護フィルムを元の様に張りなおします。
14. プロジェクターにランプ カバーを戻します。



15. ランプカバーを固定しているネジを締めます。
16. 電源を接続し、プロジェクターを再起動します。



ランプタイマーをリセットします

17. スタートアップロゴの次にオン スクリーン ディスプレイ (OSD) メニューが表示されます。
18. **システム設定**：**詳細** > **ランプ設定**を選択して **OK** を押します。すると**ランプ設定**ページが表示されます。
19. **ランプ タイマーをリセット**を選択し、**OK** を押します。ランプタイマーをリセットしても良いかどうかを確認するためのメッセージが表示されます。
20. **リセット**を選択し、**OK** を押します。するとランプ時間が「0」にリセットされます。

ランプを交換していない場合はリセットしないでください。ランプが破損する恐れがあります。

インジケーター

ライト			状態と説明
POWER	TEMP	LAMP	
電源の状況			
🟠	○	○	スタンバイ モードです。
🟢	○	○	電源を入れています。
🟢	○	○	通常動作状態です。
🟠	○	○	通常の電源オフ冷却プロセスです。
🔴	🔴	🔴	ダウンロード。
🟢	○	🔴	カラーホイールを開始できません。
🔴	○	🔴	スケーラー リセット失敗（ビデオ プロジェクターのみ）。
🟢	○	🟠	ランプ / 光源の寿命が切れました。
○	🟢	🔴	ランプカバーが開いています。
🟢	○	○	書き込みオン。
🟢	🟢	🟢	書き込みオフ。
ランプの状況			
○	○	🔴	通常動作時にランプ / 光源エラー発生。
○	○	🟠	ランプ / 光源が点灯していません。
温度の状況			
🔴	🔴	○	ファン 1 エラー（実際のファン速度が適正速度をオーバー）。
🔴	🔴	○	ファン 2 エラー（実際のファン速度が適正速度をオーバー）。
🔴	🟢	○	ファン 3 エラー（実際のファン速度が適正速度をオーバー）。
🔴	🟢	○	ファン 4 エラー（実際のファン速度が適正速度をオーバー）。
🔴	🔴	○	ファン 5 エラー（実際のファン速度が適正速度をオーバー）。
🟢	🔴	○	温度 1 エラー（上限温度オーバー）。
🟢	🟢	○	感熱 IC#1 I2C 接続エラー。

	○: **オフ**	🟠: オレンジ色点灯 🟠: オレンジ色点滅	🟢: 緑点灯 🟢: 緑点滅	🔴: 赤点灯 🔴: 赤点滅

トラブルシューティング

プロジェクターの電源がオンにならない。

原因	対応
電源コードから電源が来ていません。	電源コードが、プロジェクターの AC 電源ジャックと、コンセントに、正しく差し込まれていることを確認してください。また、コンセントにスイッチがある場合は、スイッチがオンになっていることを確認してください。
冷却プロセスの間にプロジェクターの電源をオンにしようとしています。	冷却プロセスが完了するまでお待ちください。

画像が映らない。

原因	対応
ビデオ ソースがオンになっていないか、正しく接続されていません。	ビデオ ソースをオンにし、信号ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
プロジェクターが正しく入力信号デバイスに接続されていません。	接続を確認します。
入力信号が正しく選択されていません。	**SOURCE** キーを使って正しい入力信号を選択してください。
レンズカバーが閉じられたままです。	レンズカバーを外してください。

イメージがぼやける。

原因	対応
投写レンズの焦点が合っていません。	フォーカスリングで焦点を合わせてください。
プロジェクターとスクリーンの位置が正しく合っていません。	投写角度および方向、また必要であればプロジェクターの高さを調整します。
レンズカバーが閉じられたままです。	レンズカバーを外してください。

リモコンが機能しない。

原因	対応
電池が切れています。	新しい電池に交換します。
リモコンとプロジェクターの間に障害物があります。	障害物を取り除いてください。
プロジェクターからの距離が遠すぎます。	プロジェクターから 8 メートル（26 フィート）以内の場所で操作してください。

パスワードが間違っている。

原因	対応
入力したパスワードが正しくありません。	22 ページのパスワードの呼び戻しを行うにはを参照してください。

仕様

プロジェクターの仕様

仕様はすべて予告なく変更されることがあります。

光学仕様

解像度
3840 x 2160（XPR あり）

ディスプレイ システム
1-CHIP DMD

レンズ
F = 1.81 ～ 2.10、f = 14.30 ～ 22.90 mm

クリアフォーカス範囲
1.75–5.83 m @ ワイド、
2.8–9.32 m @ 遠距離

ランプ
240 W ランプ

電気仕様

電源
AC 100–240 V、4.5 A、50–60 Hz（自動）

消費電力
405 W（最大）、< 0.5 W（スタンバイ）

機械的仕様

重量
6.5 Kg ± 100 g (14.33 ± 0.22 lbs)

出力端子

オーディオ信号出力
PC オーディオジャック x 1
SPDIF x 1

コントロール

12 V DC x 1（0.5 A 電源）

USB
Mini-B x 1

RS-232 シリアル コントロール
9 pin x 1

IR 受信機 x 2

IR （Mini ジャック）x 1

入力端子

デジタル
HDMI（2.0b、HDCP 2.2）x 2

USB
3.0 Type-A x 1（Media Reader、1 A）
2.0 Type-A x 1（Media Reader、1.5 A）
2.0 Type-A x 1（2.5 A 電源）

環境要件

動作温度範囲
0°C–40°C（海抜 0 m）

保管温度範囲
-20°C–60°C（海抜 0 m）

動作 / 保管相対湿度
10%–90%（結露なきこと）

操作高度範囲
0–1499 m (0°C–35°C)
1500–3000 m（0°C–30°C、高地モードオン）

保管高度範囲
30°C @ 0–12,200 m（海抜 0 m 以上）

補修

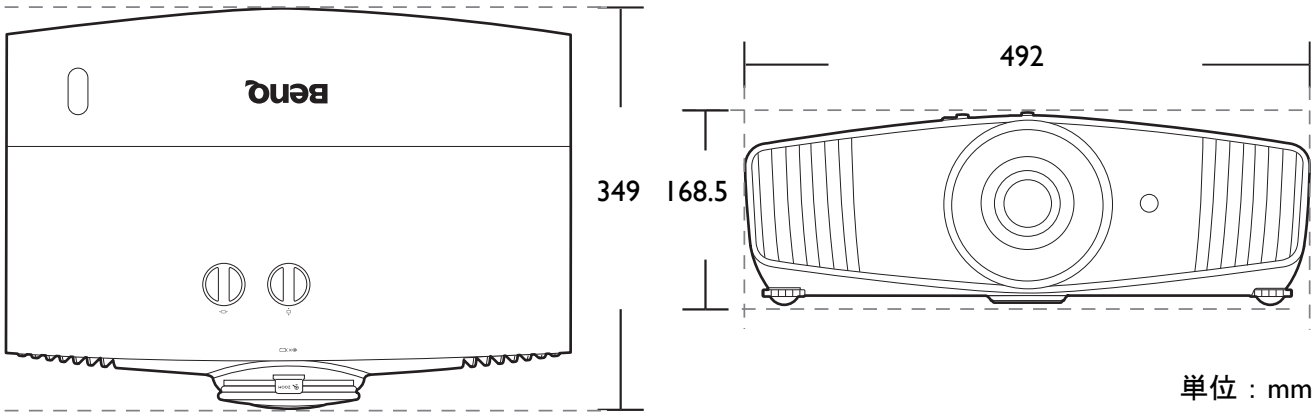
お問い合わせ窓口については、次のホームページを開き、お住まいの国を選択してください。
http://www.benq.com/welcome

搬送

製品が梱包されていたときの梱包材をご使用になることをお薦めします。

外形寸法

492 mm（幅）x 168.5 mm（高さ）x 349 mm（奥行き）



単位：mm

タイミングチャート

サポートされる HDMI (HDCP) 入力のタイミング

• PC タイミング

解像度	モード	リフレッシュレート (Hz)	水平周波数 (KHz)	クロック (MHz)	3D フィールドシーケンシャル	3D オーバー・アンダー	3D サイド・バイ・サイド
640 x 480	VGA_60	59.940	31.469	25.175			
	VGA_72	72.809	37.861	31.500			
	VGA_75	75.000	37.500	31.500			
	VGA_85	85.008	43.269	36.000			
720 x 400	720 x 400_70	70.087	31.469	28.3221			
800 x 600	SVGA_60	60.317	37.879	40.000			
	SVGA_72	72.188	48.077	50.000			
	SVGA_75	75.000	46.875	49.500			
	SVGA_85	85.061	53.674	56.250			
	SVGA_120 (Reduce Blanking)	119.854	77.425	83.000	v		
1024 x 768	XGA_60	60.004	48.363	65.000			
	XGA_70	70.069	56.476	75.000			
	XGA_75	75.029	60.023	78.750			
	XGA_85	84.997	68.667	94.500			
	XGA_120 (Reduce Blanking)	119.989	97.551	115.500	v		
1152 x 864	1152 x 864_75	75.00	67.500	108.000			
1024 x 576	BenQ Notebook Timing	60.00	35.820	46.996			
1024 x 600	BenQ Notebook Timing	64.995	41.467	51.419			
1280 x 720	1280 x 720_60	60	45.000	74.250			
1280 x 768	1280 x 768_60	59.870	47.776	79.5			
1280 x 800	WXGA_60	59.810	49.702	83.500			
	WXGA_75	74.934	62.795	106.500			
	WXGA_85	84.880	71.554	122.500			
	WXGA_120 (Reduce Blanking)	119.909	101.563	146.25			
1280 x 1024	SXGA_60	60.020	63.981	108.000			
	SXGA_75	75.025	79.976	135.000			
1280 x 960	1280 x 960_60	60.000	60.000	108			
	1280 x 960_85	85.002	85.938	148.500			
1360 x 768	1360 x 768_60	60.015	47.712	85.500			
1440 x 900	WXGA+_60	59.887	55.935	106.500			
1400 x 1050	SXGA+_60	59.978	65.317	121.750			
1680 x 1050	1680 x 1050_60	59.954	65.290	146.250			
640 x 480@ 67Hz	MAC13	66.667	35.000	30.240			
832 x 624@ 75Hz	MAC16	74.546	49.722	57.280			
1024 x 768@ 75Hz	MAC19	75.020	60.241	80.000			
1152 x 870@ 75Hz	MAC21	75.06	68.68	100.00			
1920 x 1080@ 60Hz	1920 x 1080_60	60	67.5	148.5			
1920 x 1200@ 60Hz	1920 x 1200_60 (Reduce Blanking)	59.95	74.038	154			
1920 x 1080 (VESA)	1920 x 1080_60 （劇場モデル用）	59.963	67.158	173			

1920 x 1080@ 120Hz	1920 x 1080_120（HDMI 2.0 のみサポート）	120.000	135.000	297			
3840 x 2160	3840 x 2160_30 4K2K モデル用	30	67.5	297			
3840 x 2160	3840 x 2160_60 4K2K モデル用（HDMI 2.0 のみサポート）	60	135	594			

上記のタイミングは、EDID ファイルと VGA グラフィック カードの制限により、サポートされない場合があります。一部のタイミングを選択できない場合もあります。

• ビデオ タイミング

タイミング	解像度	水平周波数 (KHz)	垂直周波数 (Hz)	ドットクロック周波数 (MHz)	3D フィールド シーケンシャル	3D フレーム パッキング	3D オーバー・アンダー	3D サイド・バイ・サイド
480i	720 (1440) x 480	15.73	59.94	27				
480p	720 x 480	31.47	59.94	27				
576i	720 (1440) x 576	15.63	50	27				
576p	720 x 576	31.25	50	27				
720/50p	1280 x 720	37.5	50	74.25		v	v	
720/60p	1280 x 720	45.00	60	74.25		v	v	
1080/24P	1920 x 1080	27	24	74.25		v	v	
1080/25P	1920 x 1080	28.13	25	74.25				
1080/30P	1920 x 1080	33.75	30	74.25				
1080/50i	1920 x 1080	28.13	50	74.25				v
1080/60i	1920 x 1080	33.75	60	74.25				v
1080/50P	1920 x 1080	56.25	50	148.5				
1080/60P	1920 x 1080	67.5	60	148.5				
2160/24P	3840 x 2160（HDMI 2.0 のみサポート）	54	24	297				
2160/25P	3840 x 2160（HDMI 2.0 のみサポート）	56.25	25	297				
2160/30P	3840 x 2160（HDMI 2.0 のみサポート）	67.5	30	297				
2160/50P	3840 x 2160（HDMI 2.0 のみサポート）	112.5	50	594				
2160/60P	3840 x 2160（HDMI 2.0 のみサポート）	135	60	594				